

平成22年度外国人看護師候補者受入れ施設巡回訪問実施結果について

社団法人国際厚生事業団は、EPAによる外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れ状況の確認、就労・研修に関する助言を行うため、巡回訪問を実施しています。具体的には、受入れ体制、研修体制、候補者の現状等を把握するため、面談及び調査票を用いて実施しています。今般、その実施結果を取り纏めましたので、お知らせいたします。

1. 巡回訪問実施期間・対象

(時期) 平成22年5月10日～平成22年9月28日

(対象) 平成20年度看護師候補者のみの受入れ施設 (47施設)

平成21年度看護師候補者のみの受入れ施設 (99施設)

平成20年度と平成21年度看護師候補者の受入れ施設 (18施設)

(回答者) 受入れ責任者・担当者、研修責任者、候補者に対して、質問票を配布 (回答数: 146施設、候補者343人)

(候補者) 平成20年度受入れインドネシア人候補者 94人

平成21年度受入れインドネシア人候補者 169人

平成21年度受入れフィリピン人候補者 80人

2. 巡回訪問実施内容

(1) 受入れ責任者・担当者に面談のうえ、主に以下の事項について確認。

回答は、施設ごとに回収 (回答数146件)

- ・職場・生活適応状況 (ボランティア利用状況、ホームシックの有無 等)
- ・候補者受入れによる影響 (サービスの質、職場や利用者への影響)
- ・受入れ側からの各候補者の現状 (労務慣行等への順応、住居 等)

(2) 研修責任者 (日本語学習指導者を含む) に面談のうえ、主に以下の事項について確認。回答は、候補者ごとに回収 (回答数343件)

- ・日本語研修の取組み状況 (研修時間、学習方法 等)
- ・国家試験対策の取組み状況 (研修時間、学習方法 等)
- ・就労研修の状況 (業務内容 等)

(3) 候補者に面談のうえ、以下の事項について確認を実施。回答は、候補者ごとに回収 (回答数343件)

- ・職場適応状況 (労務慣行等への順応、日本語習熟状況 等)
- ・メンタルヘルス・健康 (不安に感じている事柄の有無、健康状態、食事 等)

(4) 日本語テストを実施のうえ、研修の進捗状況について確認。受験者数は
338名（全343人）。

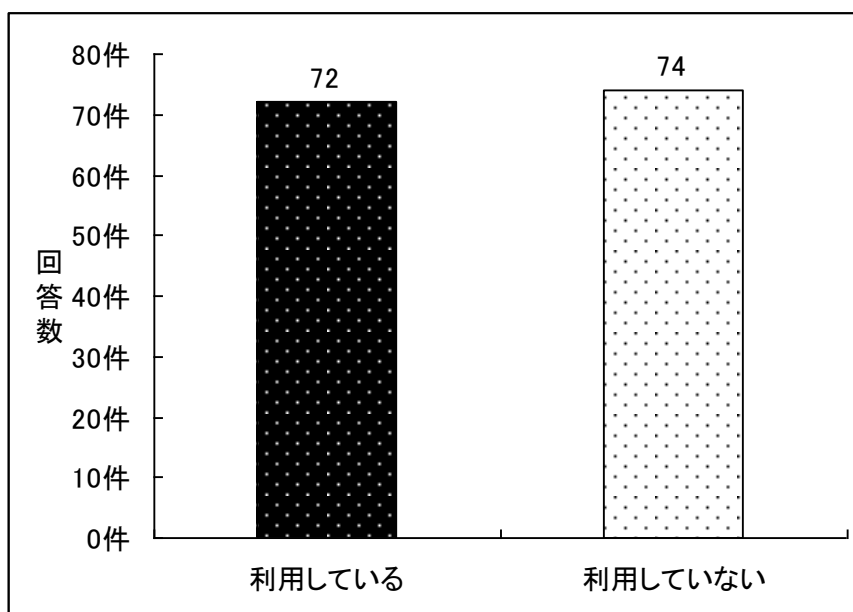
1. 受入れ責任者・担当者への質問

(1) 候補者の職場・生活適応について

① ボランティアの利用状況について

候補者のために何らかのボランティアを利用しているかと質問したところ、「利用している」という回答が72件、「利用していない」という回答が74件となっている（図1-1）。

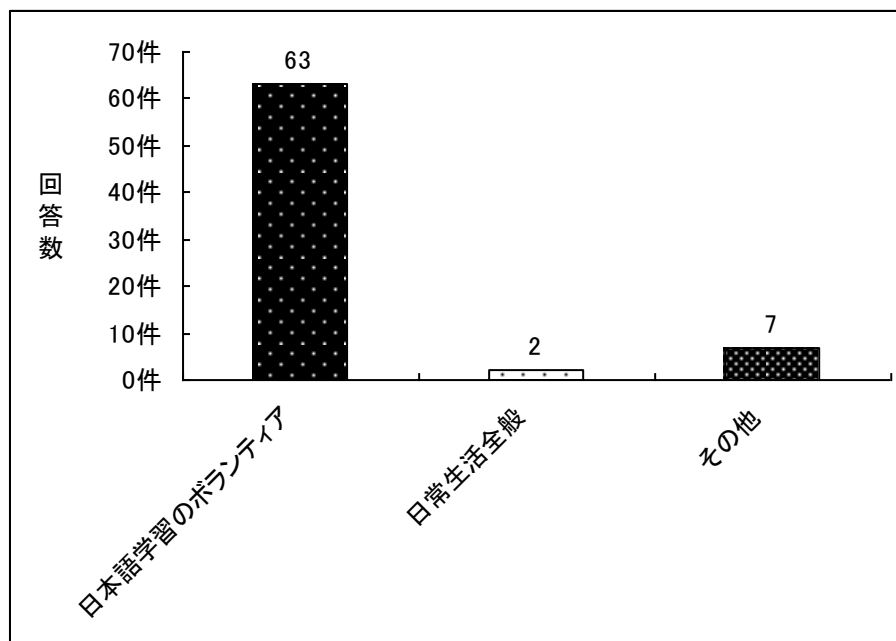
(図1-1) ボランティアの利用状況について



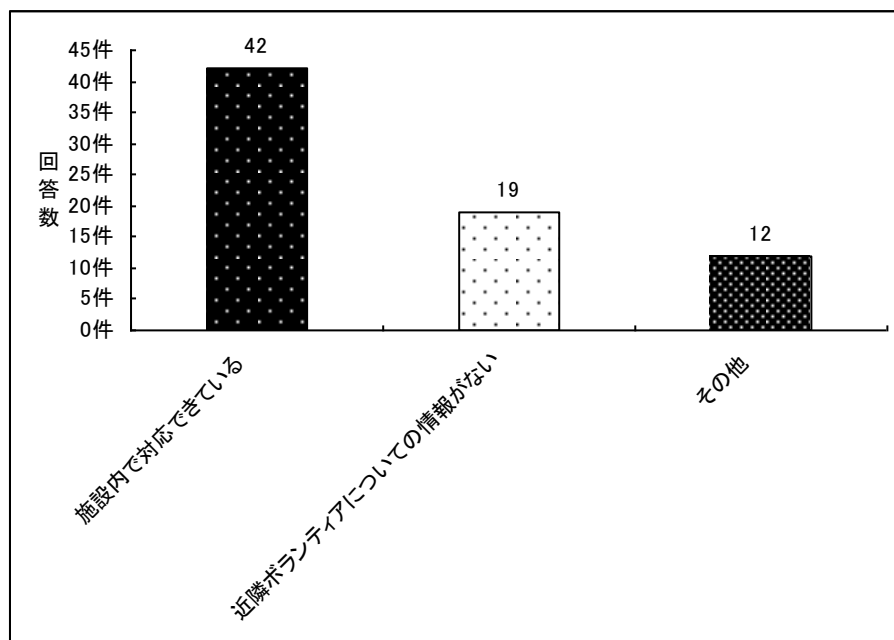
② ボランティア利用等の内訳について

①にて「利用している」と回答した72件について、どのようなボランティアを利用しているか質問したところ、「日本語ボランティア」という回答が63件あった（図1-2）。また同様に、「利用していない」と回答した74件について、ボランティアを利用していない理由を質問したところ、「施設内で対応できている」という回答が42件あった（図1-3）。

(図1-2) どのようなボランティアを利用しているか【複数回答】



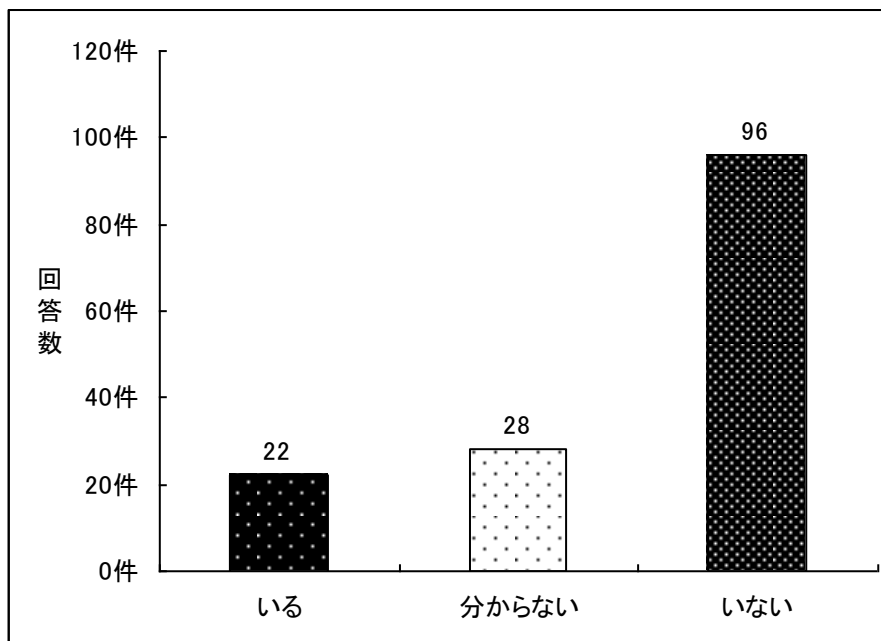
(図1-3) ボランティアを利用しない理由について【複数回答】



③ホームシック等にかかっている候補者の有無について

ホームシック等にかかっている候補者の有無について質問したところ、「いない」という回答が96件、「分からない」という回答が28件、「いる」という回答が22件あった(図1-4)。

(図1-4) ホームシック等にかかっている候補者の有無について

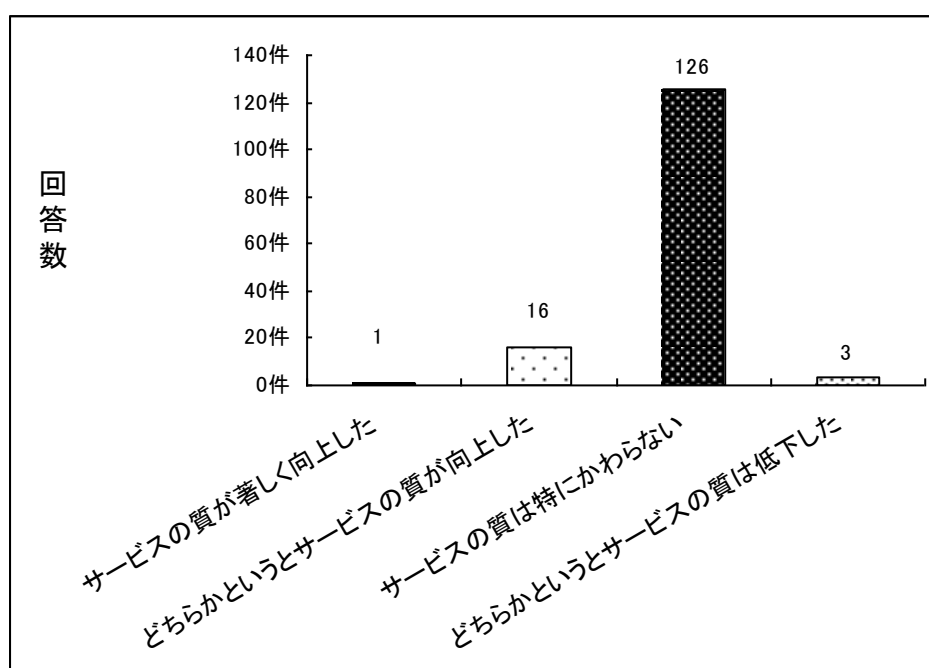


(2) 候補者の受入れによる施設への影響について

①施設が提供するサービスの質への影響について

施設が提供するサービスの質への影響について質問したところ、「サービスの質は特にかわらない」という回答が126件、「どちらかというともサービスの質が向上した」という回答が16件、「どちらかというともサービスの質は低下した」という回答が3件、「サービスの質が著しく向上した」という回答が1件あった(図1-5)。

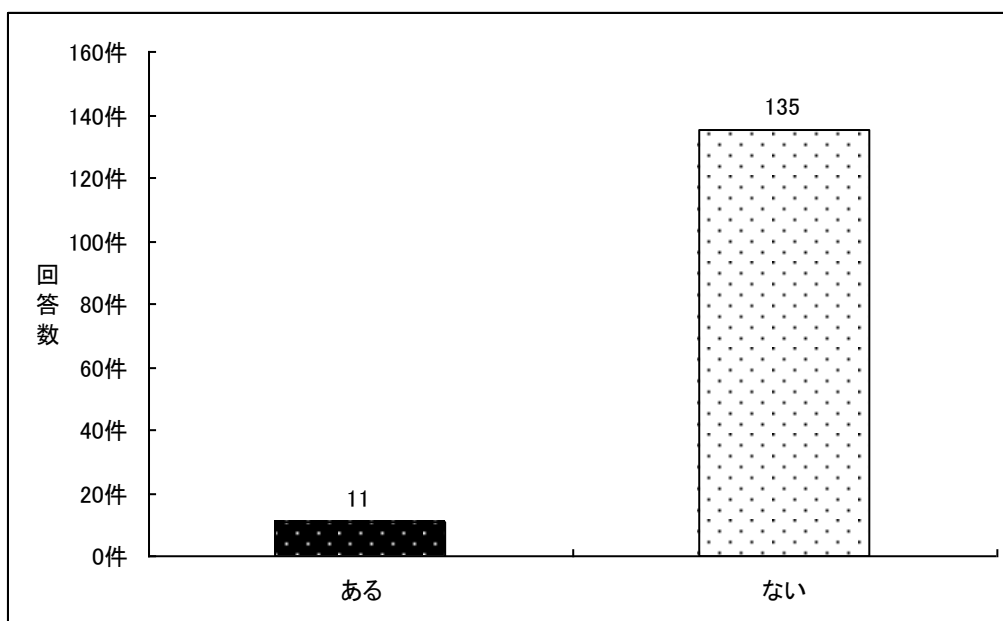
(図1-5) 施設が提供するサービスの質への影響について



②候補者が行う業務に関連した事故や問題の有無について

候補者が行う業務に関連した事故や問題の有無について質問したところ、「ある」という回答が11件、「ない」という回答が135件となっている（図1-6）。「ある」と回答した11件について事故や問題の詳細を質問したところ、患者の名前の確認不足等によるコミュニケーションに関連する事故や問題、サービスに関連した事故や問題等が報告された。

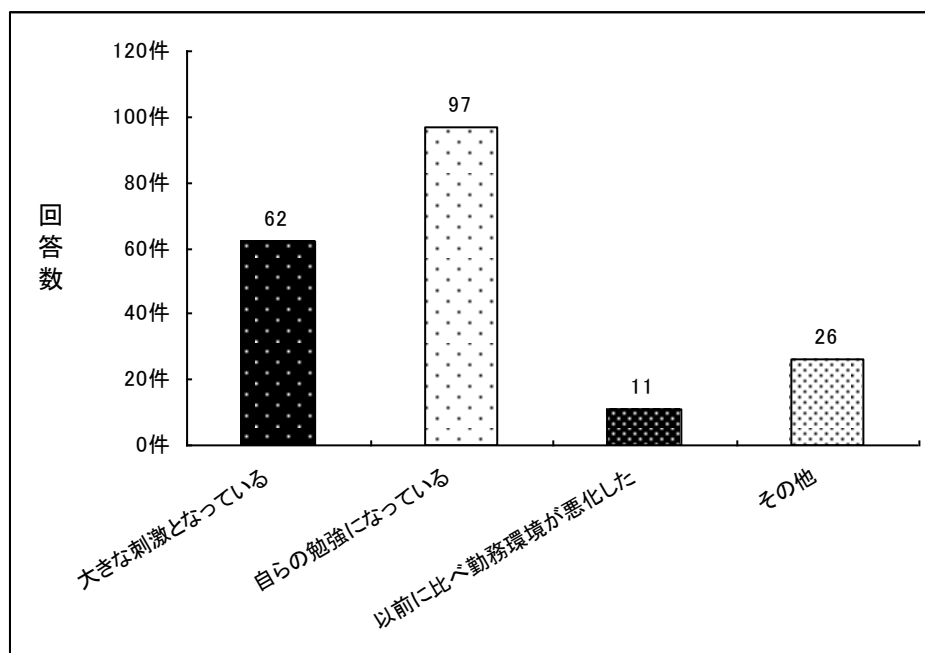
（図1-6）候補者が行う業務に関連した事故や問題の有無について



③日本人職員への影響について

日本人職員への影響について質問したところ、候補者への指導を通じて「自らの勉強になっている」という回答が97件、「大きな刺激となっている」という回答が62件、候補者のフォローや教育等により「受入れ以前に比べ勤務環境が悪化したという」という回答が11件、「その他」の回答26件あった（図1-7）。

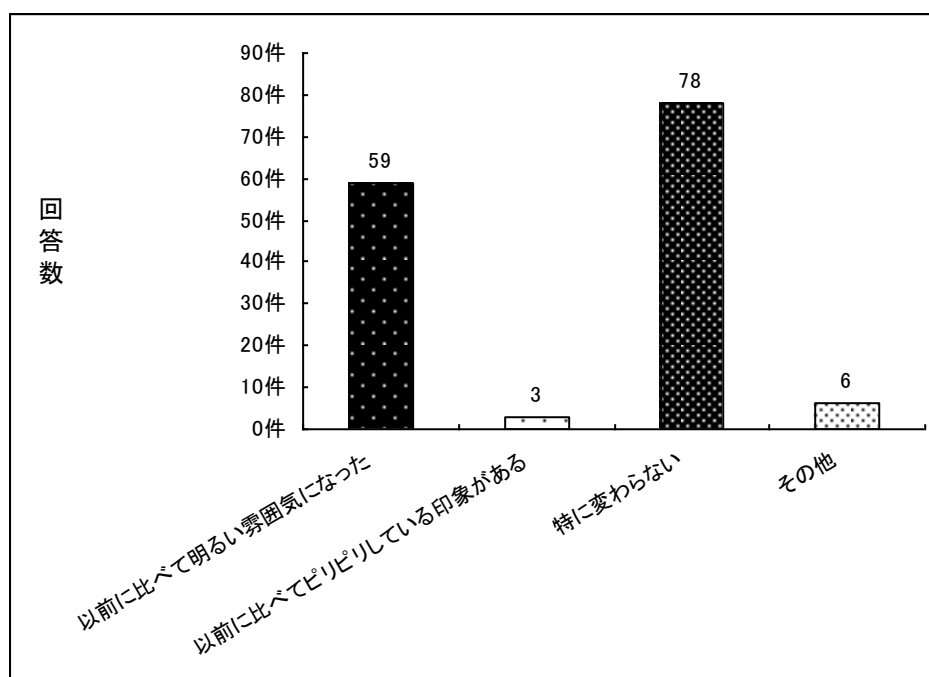
（図1-7）日本人職員への影響について【複数回答】



④職場環境への影響について

職場環境への影響について質問したところ、「特に変わらない」という回答が78件、候補者がいることで「以前に比べて明るい雰囲気になった」という回答が59件、候補者の対応に気を使い「以前に比べてピリピリしている」という回答が3件、「その他」の回答が6件あった（図1-8）。

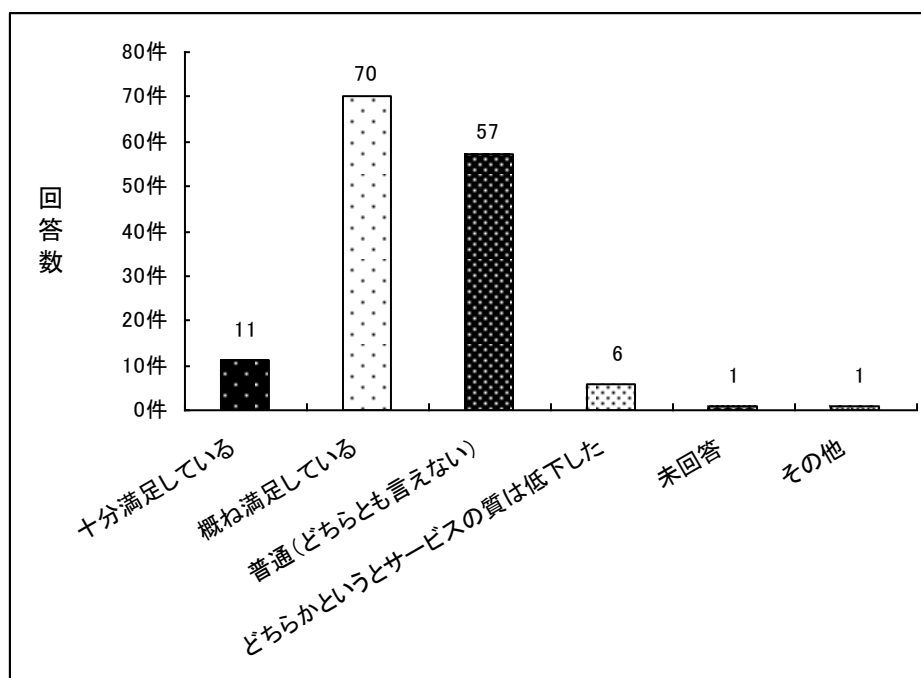
（図1-8）職場環境への影響について



⑤候補者の行うサービスについて

利用者に対する候補者の行うサービスについて質問したところ、「候補者の行うサービスに対して概ね満足している」という回答が70件、「普通（どちらともいえない）」という回答が57件、「候補者の行うサービスに対して十分満足している」という回答が11件、「どちらかというサービスは低下した」という回答が6件、未回答が1件、その他が1件あった（図1-9）。

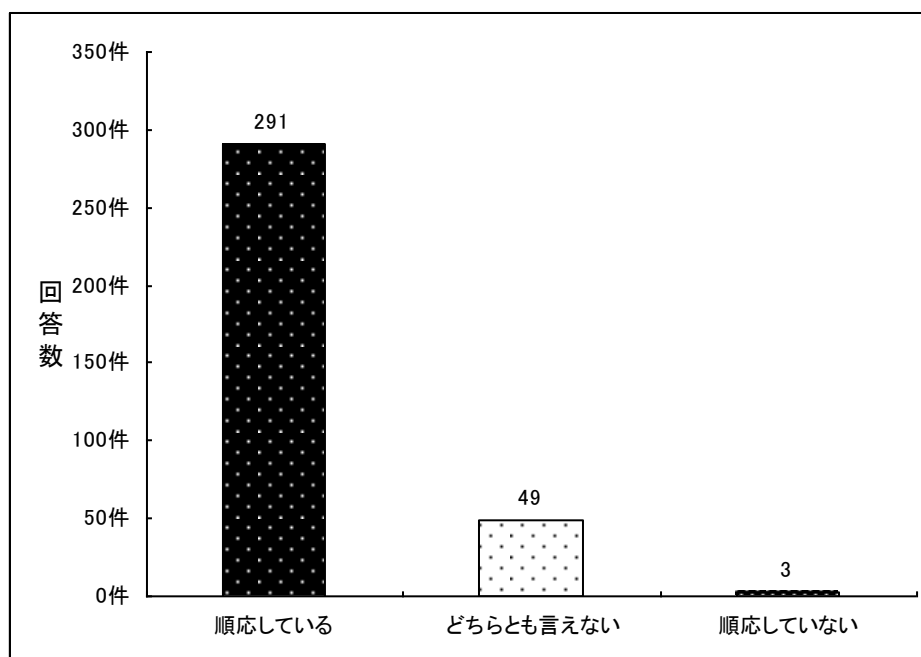
（図1-9）候補者の行うサービスについて



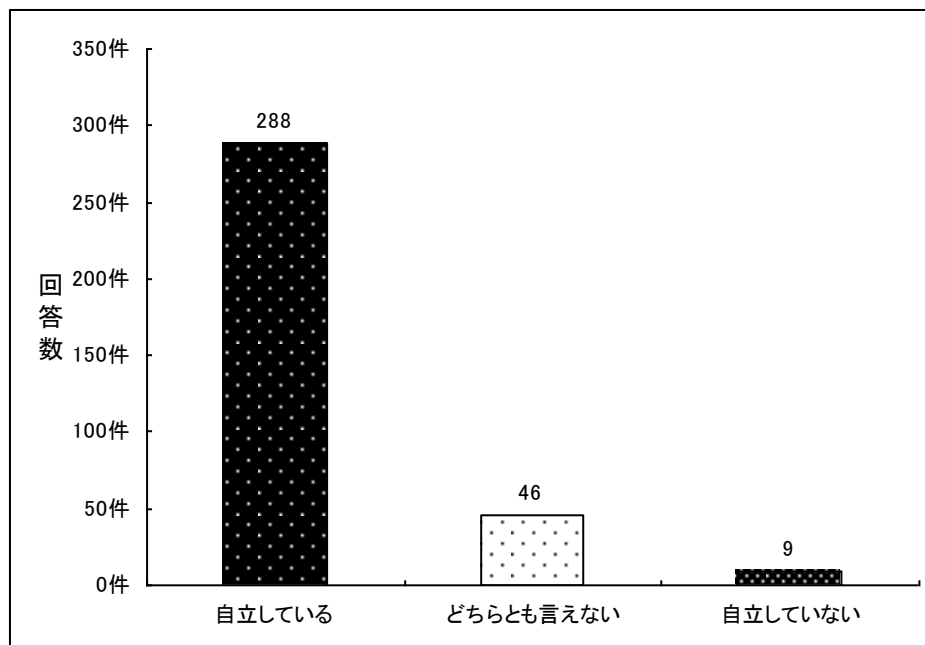
(3) 各候補者の職場適応について

候補者343人について労務慣行等に順応しているか、精神的な自立をしているか、他の職員との協調、規律の遵守の4点について、受入れ責任者及び担当者に質問したところ、「順応している」という回答が291件（図1-10）、「精神的な自立をしている」という回答が288件（図1-11）、「職員と協調している」という回答が313件（図1-12）、「規律を遵守している」という回答が326件（図1-13）あった。

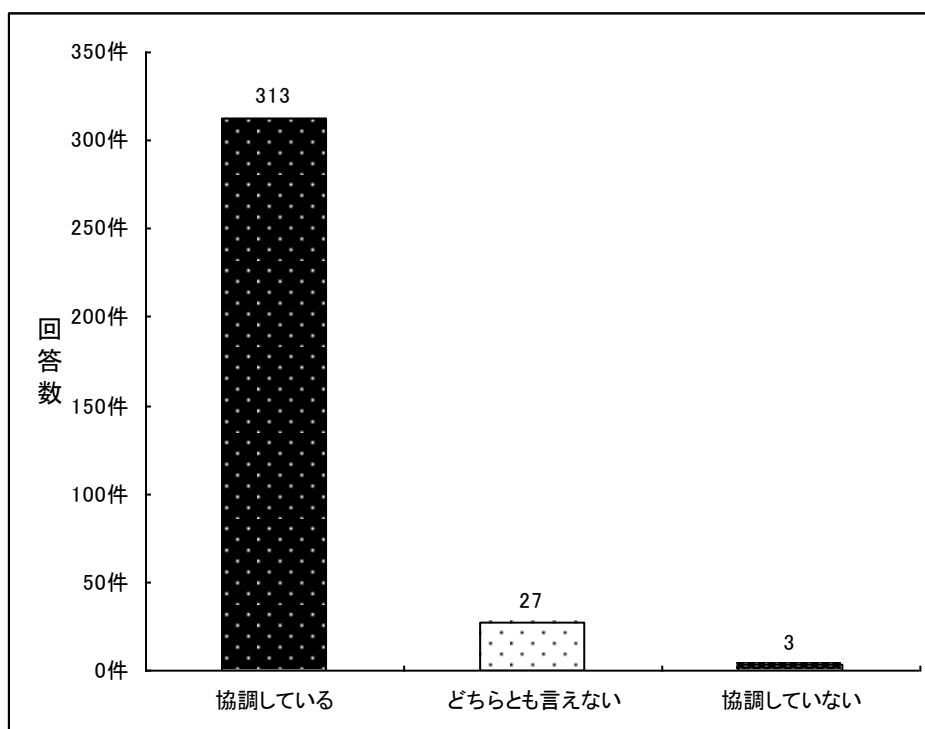
(図1-10) 労務慣行等の順応について



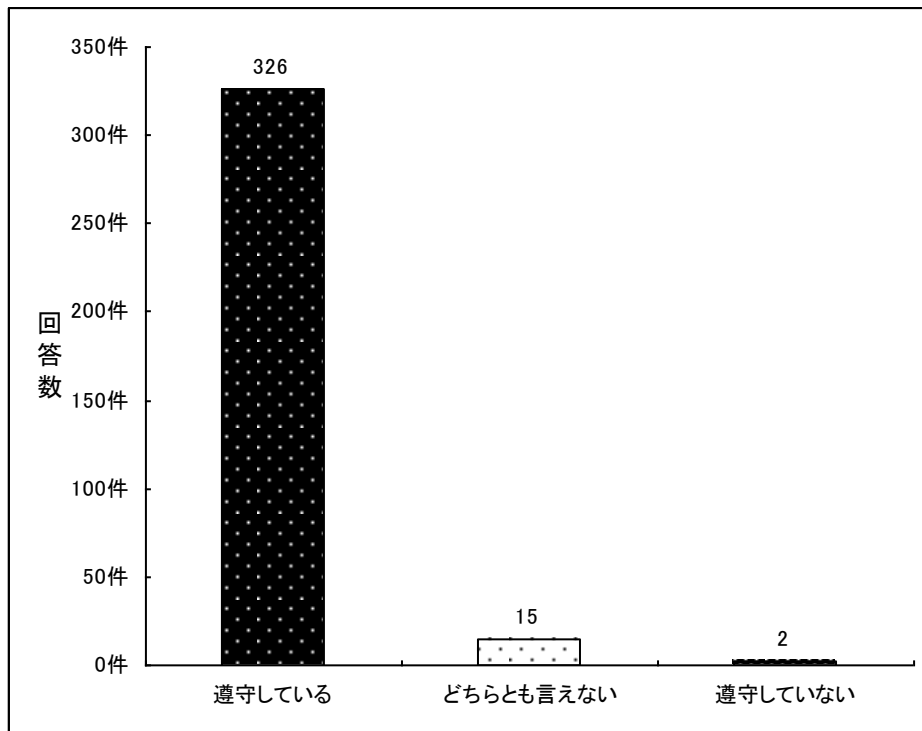
(図1-11) 候補者が精神的な自立をしているかどうかについて



(図1-12) 職員との協調について



(図1-13) 規律の遵守について

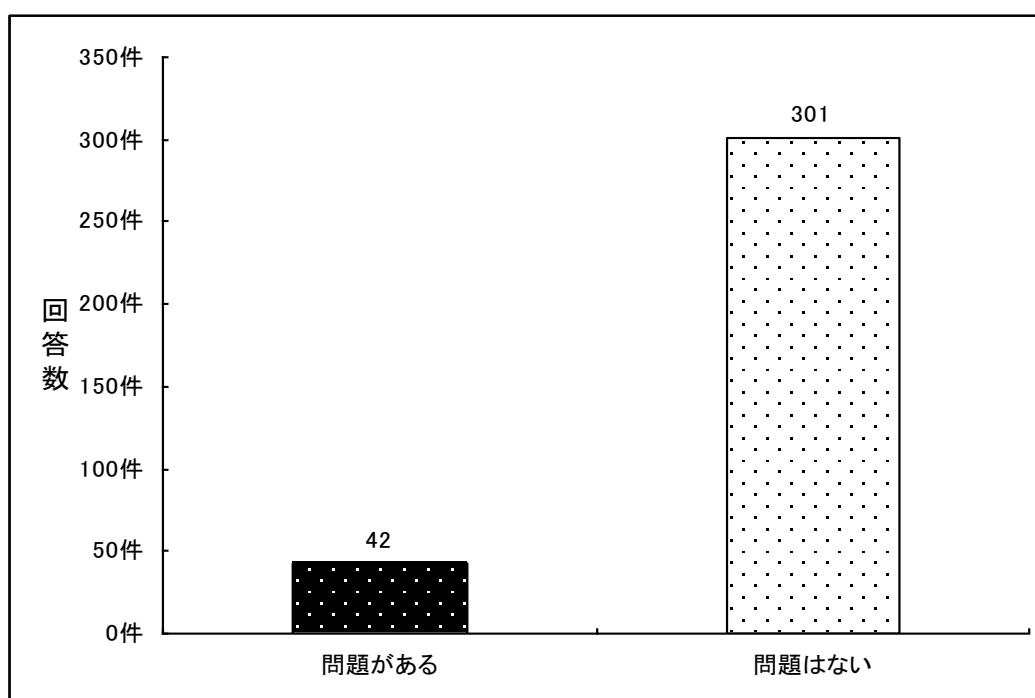


(4) 各候補者の住居施設について

各候補者の住居、設備の使用・管理に関する問題の有無を見ると、「問題がある」という回答が42件、「問題はない」という回答が301件となっている(図1-14)。

また、携帯電話の所有状況、住居のインターネット環境について、それぞれ質問したところ、「所有している」という回答が315件(図1-15)、「環境が整っている」という回答が307件(図1-16)あった。

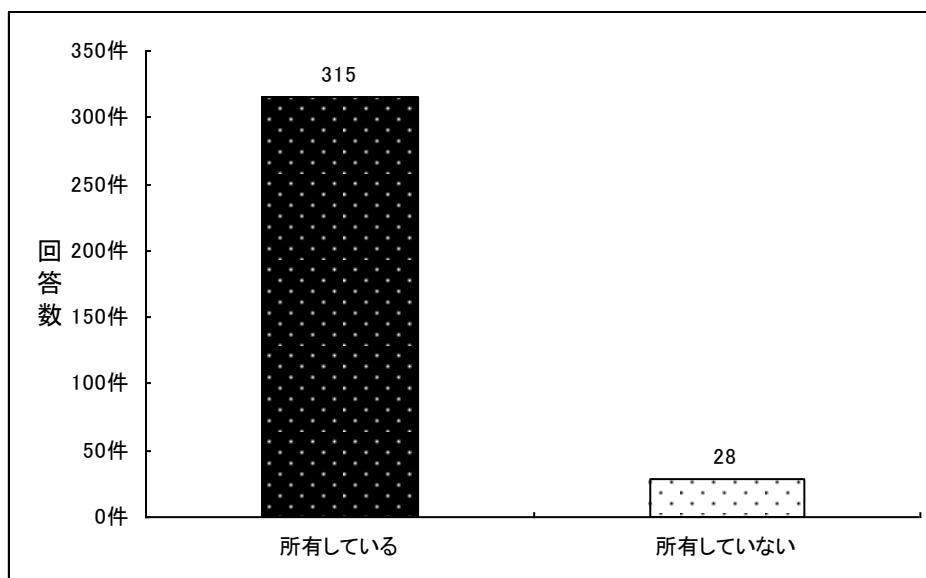
(図1-14) 住居、設備の使用・管理に関する問題の有無について



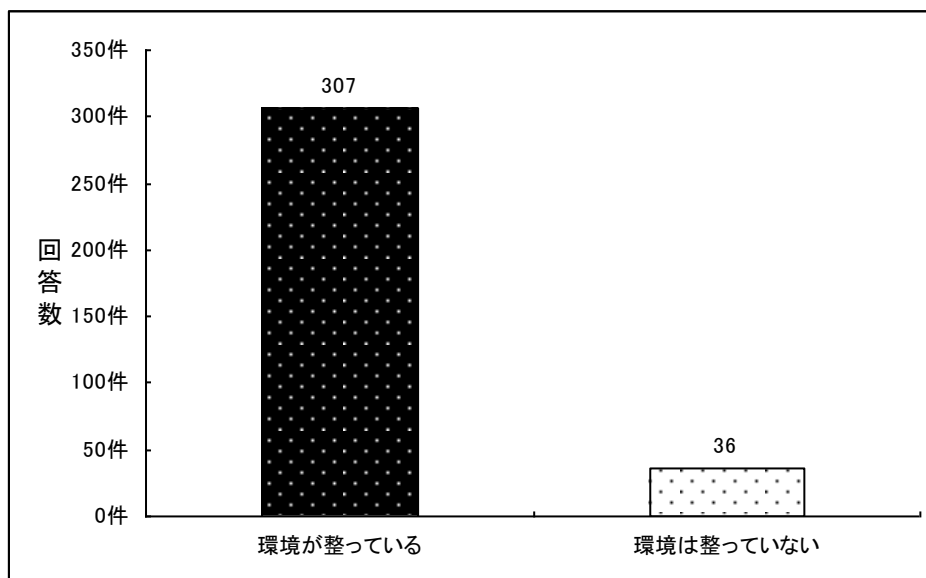
(※) 住居、設備の使用・管理に関する問題の具体例

インターネット環境が未整備 (5件)、清掃の不徹底 (4件)、家賃・電気料金 (4件)、共同生活の不満 (2件)、生活騒音 (2件) 等

(図1-15) 携帯電話の所有について



(図1-16) 住居のインターネット環境について



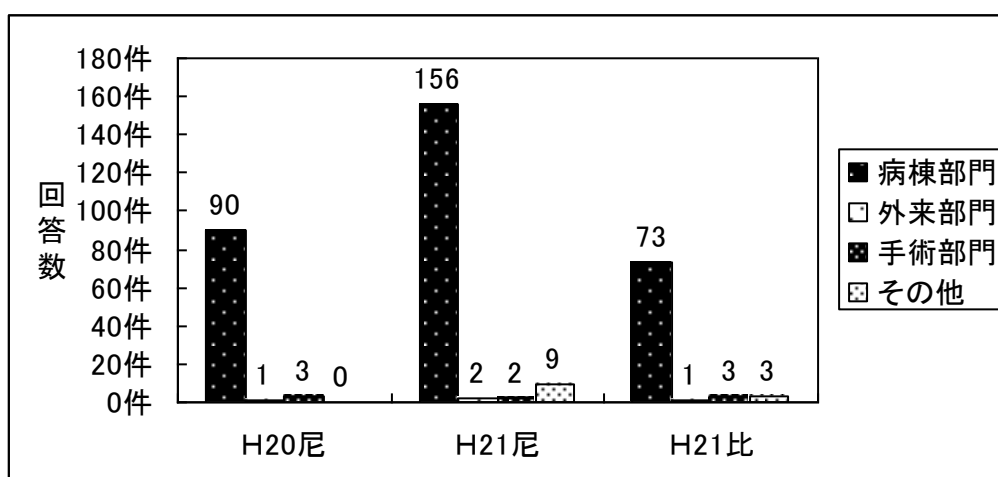
2. 研修責任者への質問

(1) 候補者の業務について

① 候補者の主な配属部門について

候補者の主な配属部門について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者94人、平成21年度インドネシア人候補者169人、平成21年度フィリピン人候補者80人のいずれにおいても、「病棟部門」という回答が多かった（順に90件、156件、73件）（図2-1）。

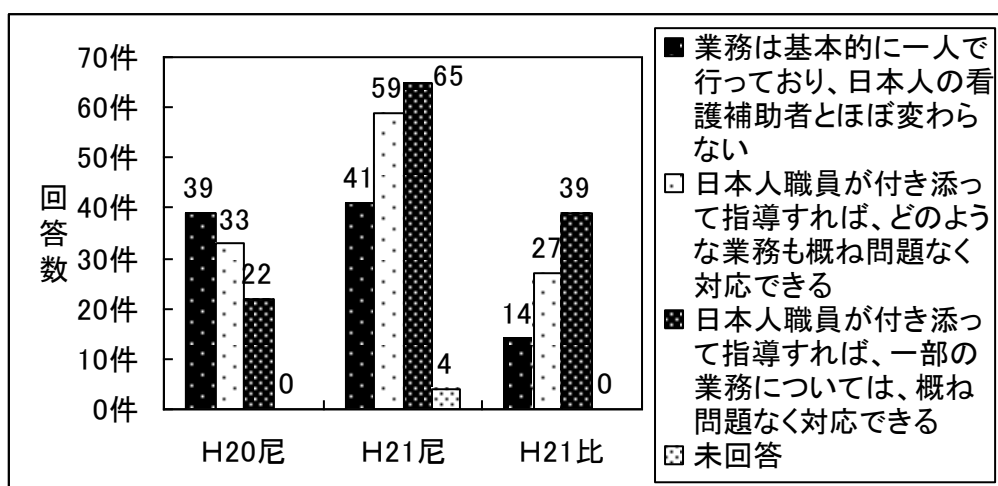
(図2-1) 候補者の主な配属部門について



②候補者が行っている業務について

候補者が行っている業務について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者（計94人）については、「日本人の介護補助者とほぼ変わらない」という回答が多かった（39件）、また、平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については、「一部の業務については、概ね問題なく対応できる」という回答が多かった（65件）。さらに、平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については、「一部の業務については、概ね問題なく対応できる」という回答が多かった（39件）（図2-2）。

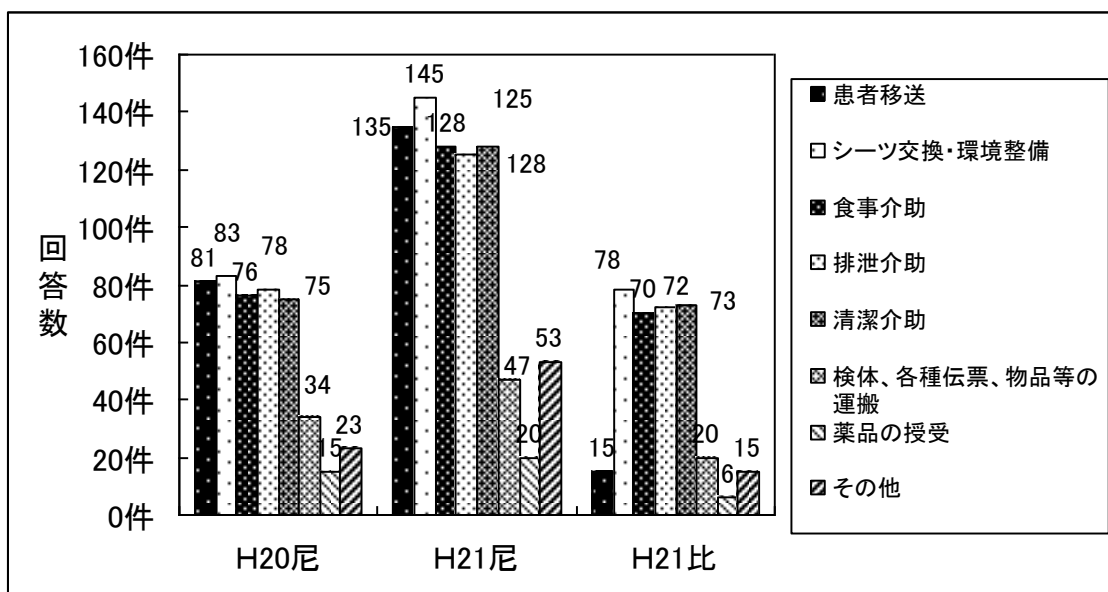
（図2-2）候補者が行っている業務について



③概ね問題なく対応できる業務について

候補者が概ね問題なく対応できる業務について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者、平成21年度インドネシア人候補者、平成21年度フィリピン人候補者ともに、「シーツ交換・環境整備」という回答が多かった（順に83件、145件、78件）（図2-3）。

（図2-3）概ね問題なく対応できる業務について【複数回答】

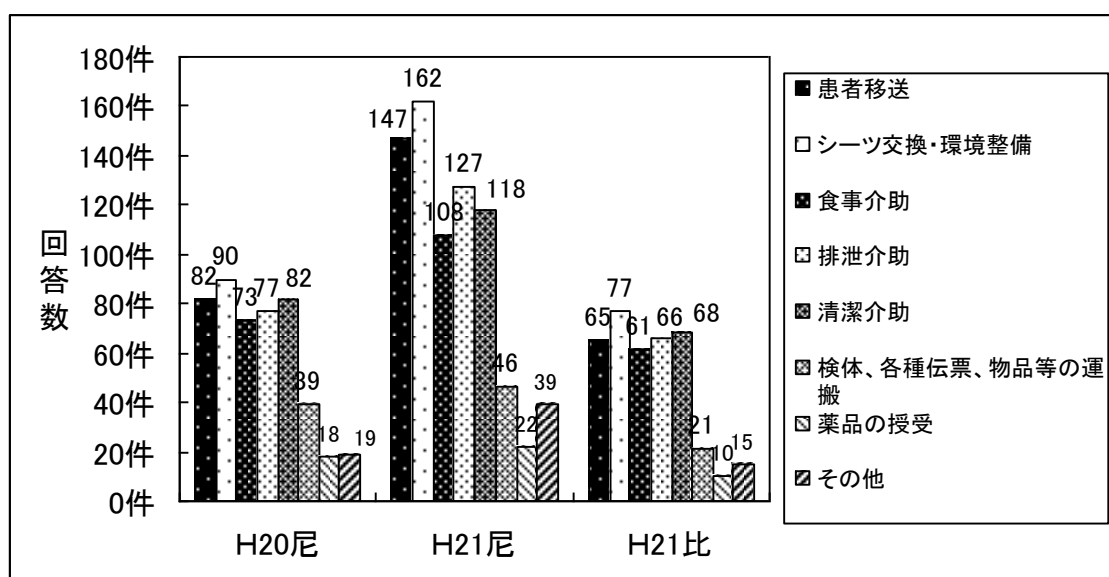


④研修開始直後、候補者が従事した業務について

候補者が、研修開始直後、従事した業務について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者、平成21年度インドネシア人候補者、平成21年度フィリピン人候補者ともに、「シーツ交換・環境整備」という回答が多かった（順に90件、162件、77件）（図2-4）。

候補者が、研修開始直後、従事した業務について質問したところ、平成20年度インドネシア人（計94人）については、「シーツ交換・環境整備」、「患者移送」、「清潔介助」という回答が多かった（順に、90件、82件、82件）。また、平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については、「シーツ交換・環境整備」、「患者移送」、「排泄介助」という回答が多かった（順に、162件、147件、127件）。さらに、平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については、「シーツ交換・環境整備」、「清潔介助」、「排泄介助」という回答が多かった（順に、77件、68件、66件）（図2-6）。

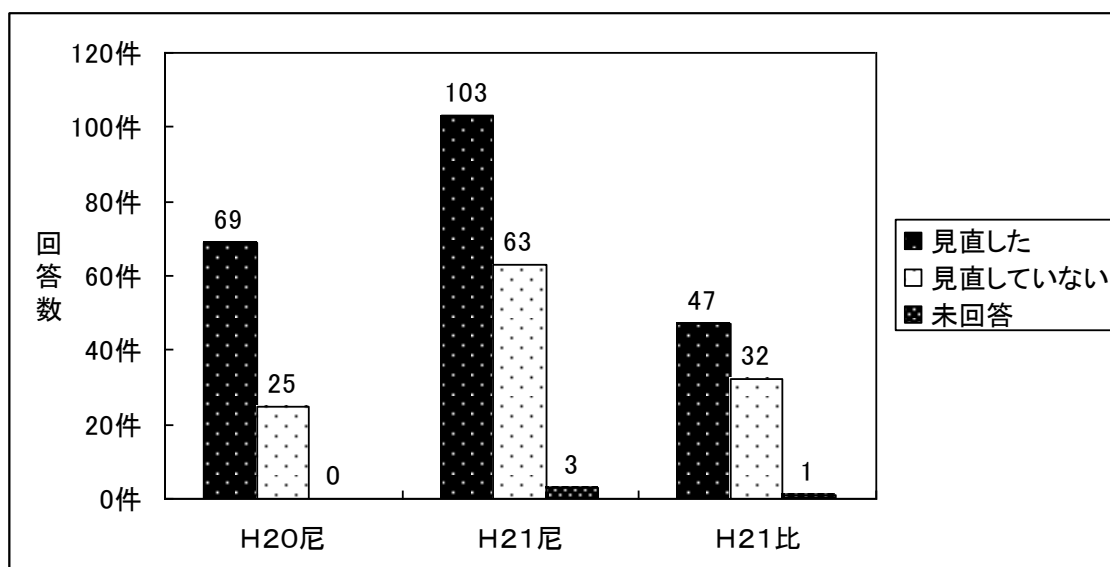
（図2-4）研修開始直後、候補者が従事した業務について【複数回答】



⑤配属直後と現時点での業務見直しの有無について

配属後、現時点での候補者の業務見直しについて質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者、平成21年度インドネシア人候補者、平成21年度フィリピン人候補者ともに、「見直した」という回答が多かった（順に69件、103件、47件）（図2-5）。

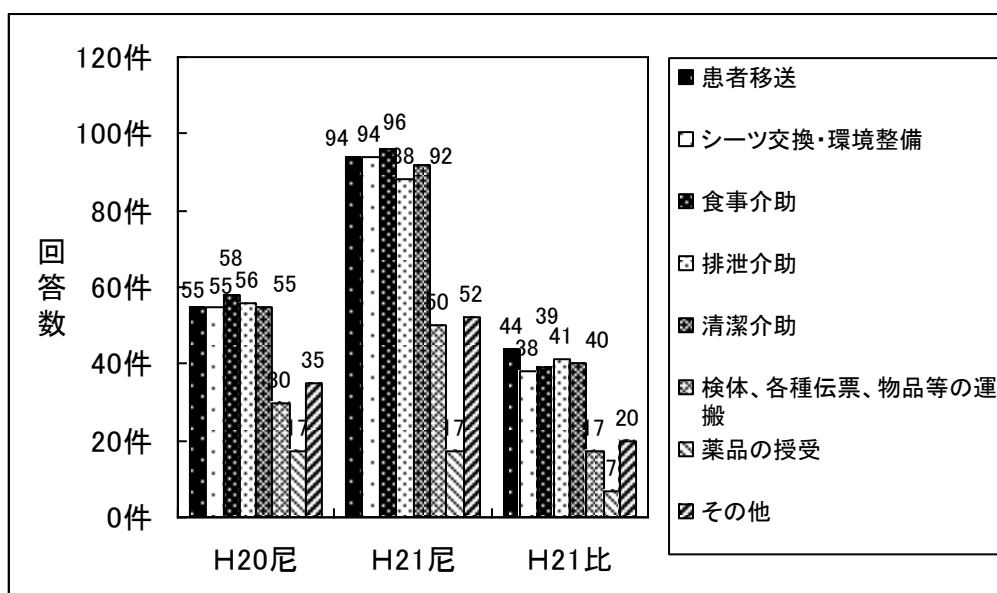
（図2-5）配属直後と現時点での業務見直しの有無について



⑥業務見直し後の業務内容について

業務見直し後の業務内容について質問したところ、「患者移送」、「シーツ交換・環境整備」、「食事介助」、「排泄介助」、「清潔介助」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人94人中、それぞれ55件、55件、58件、56件、55件。平成21年度インドネシア人候補者169人中、それぞれ94件、94件、96件、88件、92件。平成21年度フィリピン人候補者80人中、それぞれ44件、38件、39件、41件、40件の回答があった（図2-6））。

（図2-6）業務見直し後の業務内容について【複数回答】



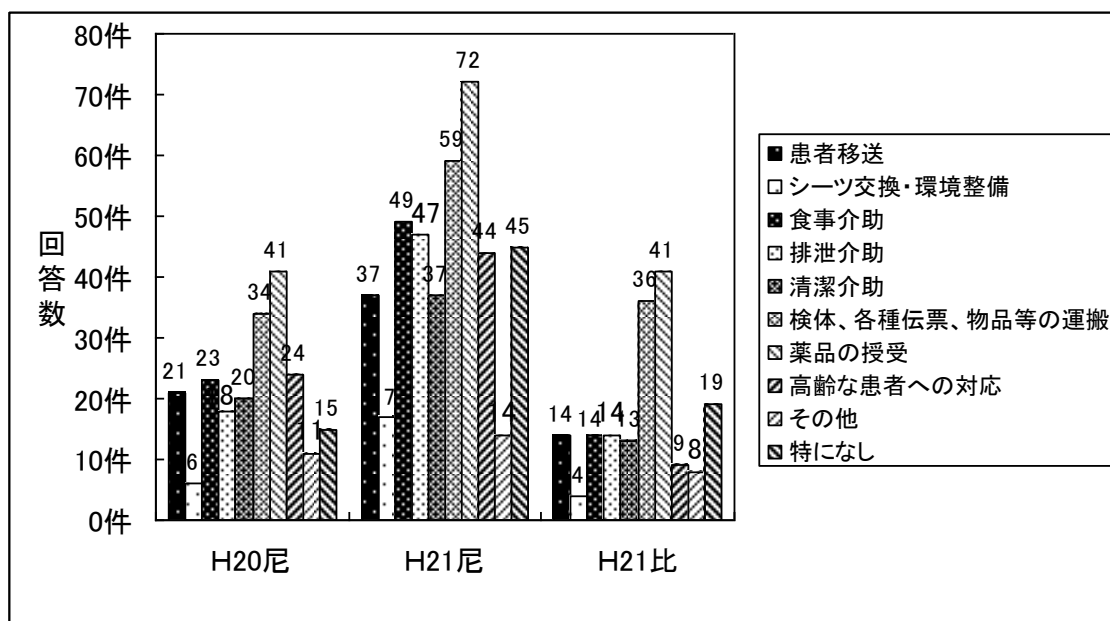
⑦研修開始当初、看護知識や技術が足りないため、候補者が行うことができないと思う業務について

研修開始当初、看護知識や技術が足りないため、候補者が行うことができないと思う業務について質問したところ、平成20年度インドネシア人（計94人）については、「薬品の授受」、「検体、各種伝票、物品等の運搬」、「高齢な患者への対応」という回答が多かった（順に、41件、34件、24件）。

平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については、「薬品の授受」、「検体、各種伝票、物品等の運搬」、「食事介助」という回答が多かった（順に、72件、59件、49件）。

平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については、「薬品の授受」、「検体、各種伝票、物品等の運搬」、「特になし」という回答が多かった（順に、41件、36件、19件）（図2-7）。

（図2-7）研修開始当初、看護知識や技術が足りないため、候補者が行うことができないと思う業務について【複数回答】

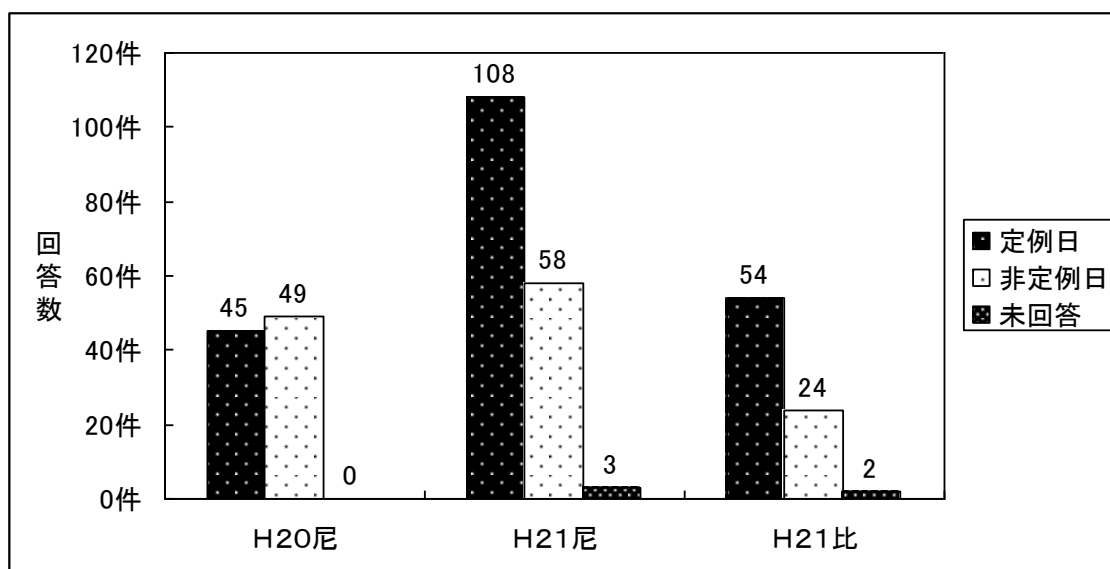


⑧休日について

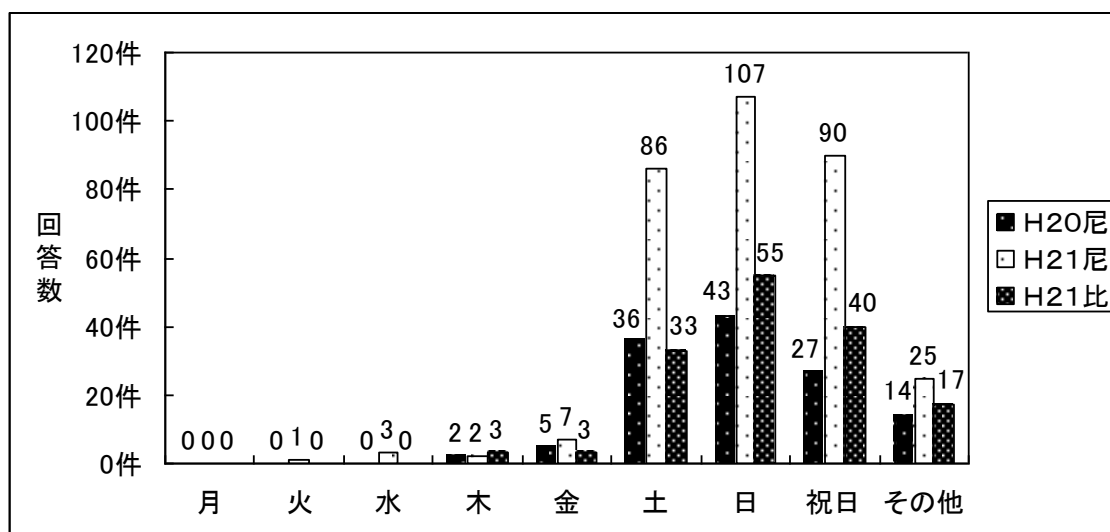
休日について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者（計94人）について、休日は「非定例日」であるという回答が多かった（49件）。

他方、平成21年度インドネシア人候補者（計169人）、平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については、休日は「定例日」であるという回答が多かった（それぞれ108件、54件）（図2-8）。また、いつが休日となっているか質問したところ、「土曜日」、「日曜日」、「祝日」、「その他」という回答が多かった（図2-9）。

（図2-8）休日について



（図2-9）休日について<週の内訳>



⑨勤務時間について

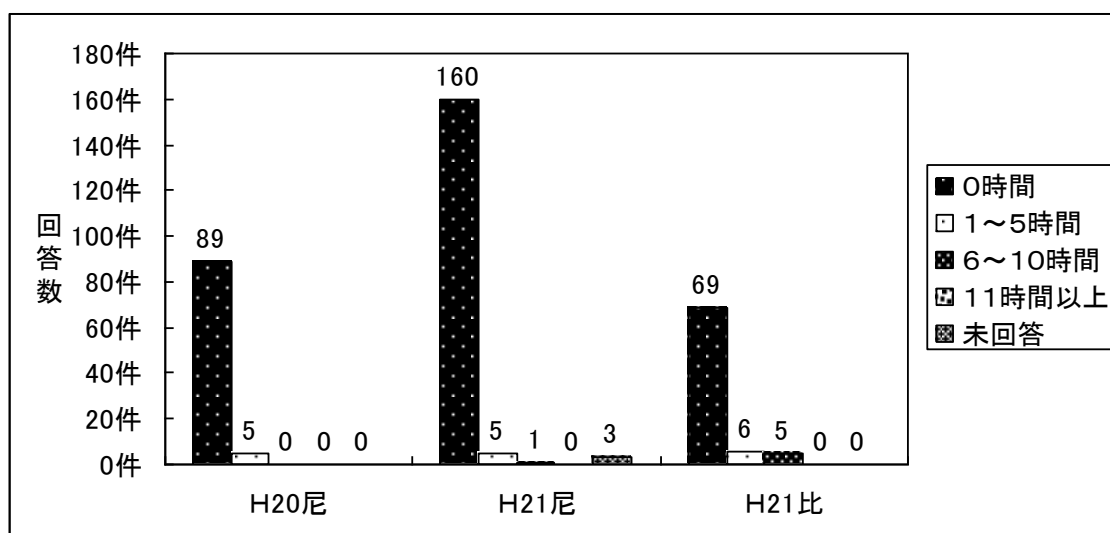
週の所定外労働時間について質問したところ、「0時間」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人94人中89件、平成21年度インドネシア人169人中160件、平成21年度フィリピン人80人中69件）（図2-10）。

夜勤の実施状況について質問したところ、「実施していない」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人94人中71件、平成21年度インドネシア人169人中166件、平成21年度フィリピン人80人中74件）（図2-11）。

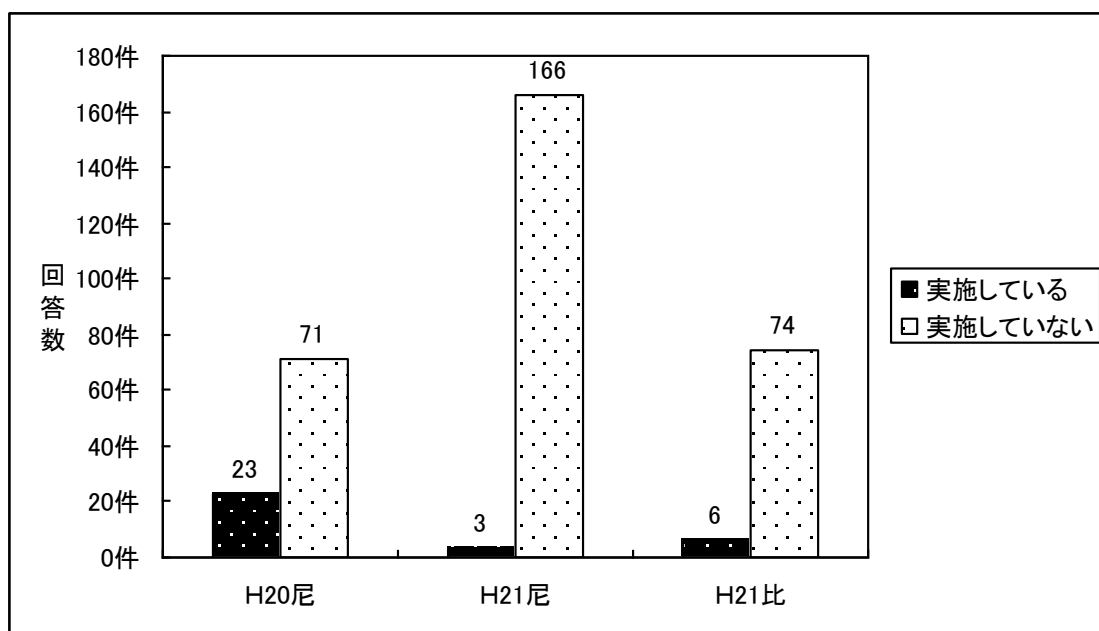
夜勤の実施時期について質問したところ、平成20年度インドネシア人（計94人）については、配属後「6～10ヶ月後」という回答が多かった（10件）、平成21年度インドネシア人（計169人）については、配属後「1～5ヶ月後」という回答が多かった（3件）、平成21年度フィリピン人（計80人）については、配属後「1～5ヶ月後」、配属後「6～10ヶ月後」という回答があった（それぞれ3件）（図2-12）。

夜勤の月当たりの実施回数について質問したところ、月に「3回」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人94人中8件。平成21年度インドネシア人169人中2件。平成21年度フィリピン人80人中3件の回答があった）（図2-13）。

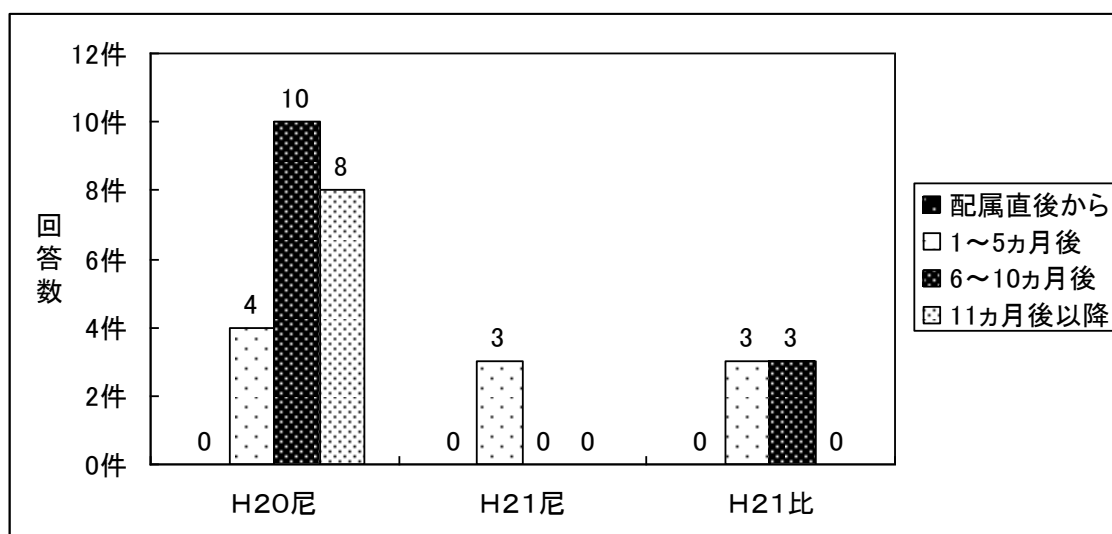
（図2-10）週の所定外労働時間について



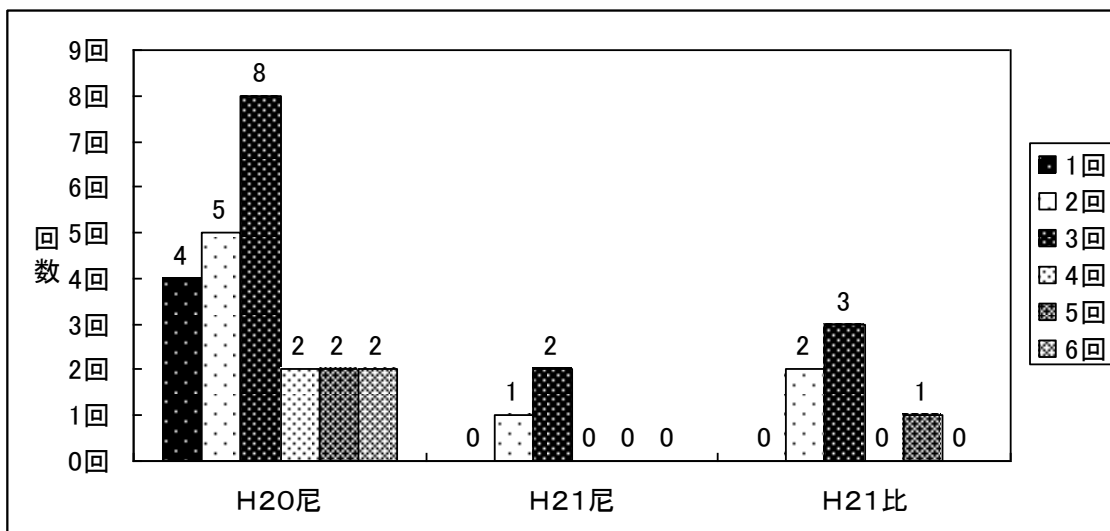
(図2-1-1) 候補者の夜勤実施状況について



(図2-1-2) 夜勤の実施時期について



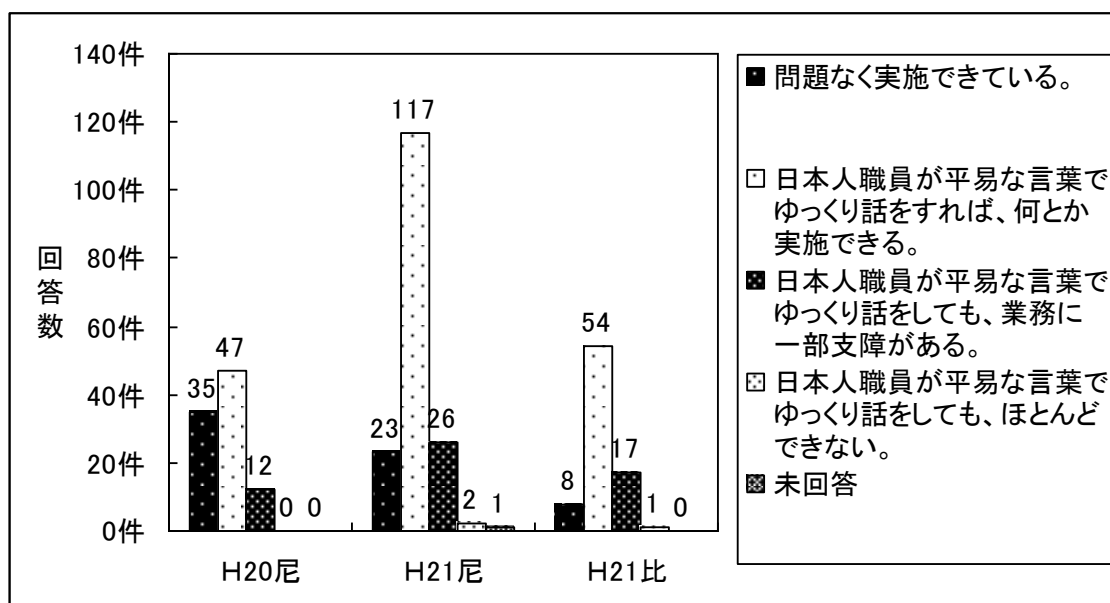
(図2-13) 夜勤の実施回数(月単位)について



⑩看護師等からの指示（口頭）の理解度について

看護師等からの指示（口頭）の理解度について質問したところ、「時々話が通じないときはあるが、ゆっくり話せば概ね伝わる」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人については、47件。平成21年度インドネシア人候補者については、117件。平成21年度フィリピン人候補者については、54件）（図2-14）。

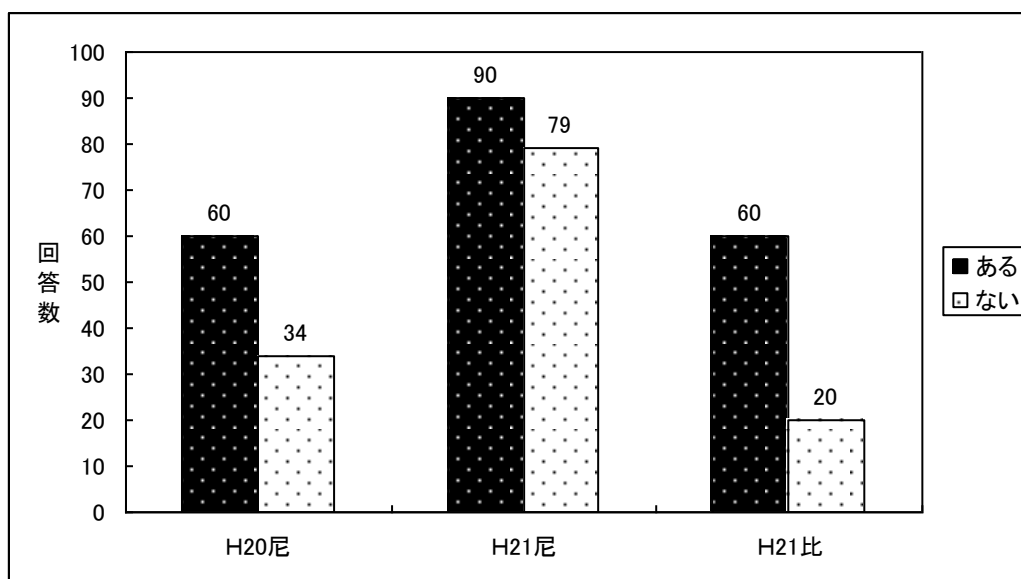
（図2-14）看護師等からの指示（口頭）の理解度について



⑪日本語の文字を理解してないとできない業務の有無について

候補者が日本語の文字を理解していないとできない業務の有無について質問したところ、「ある」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者については、60件。平成21年度インドネシア人候補者については、90件。平成21年度フィリピン人候補者については、60件）（図2-15）。

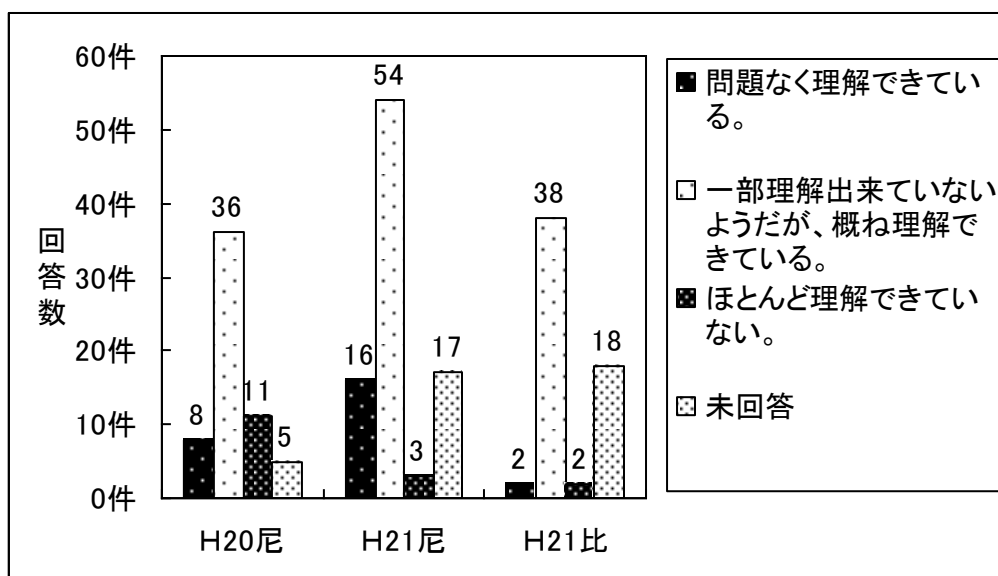
（図2-15）日本語の文字を理解してないとできない業務の有無について



⑫日本語の文字を理解していないとできない業務の理解について

候補者が日本語の文字を理解していないとできない業務の理解について質問したところ、「一部理解できていないようだが、概ね理解できている」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者については、36件。平成21年度インドネシア人候補者については、54件。平成21年度フィリピン人候補者については、38件）（図2-16）。

（図2-16）日本語の文字を理解していないとできない業務について

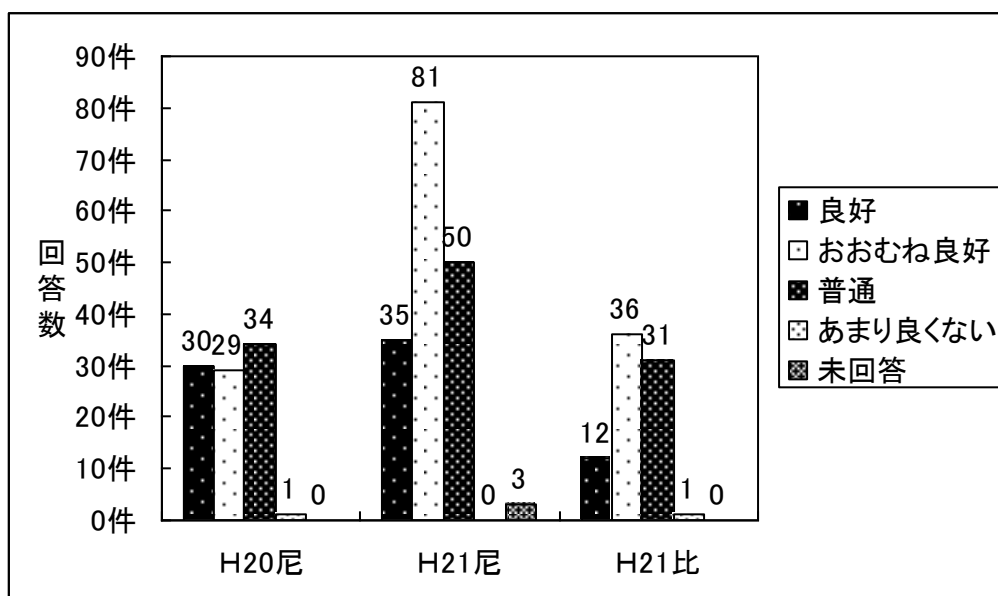


⑬患者の家族・職員からの反応について

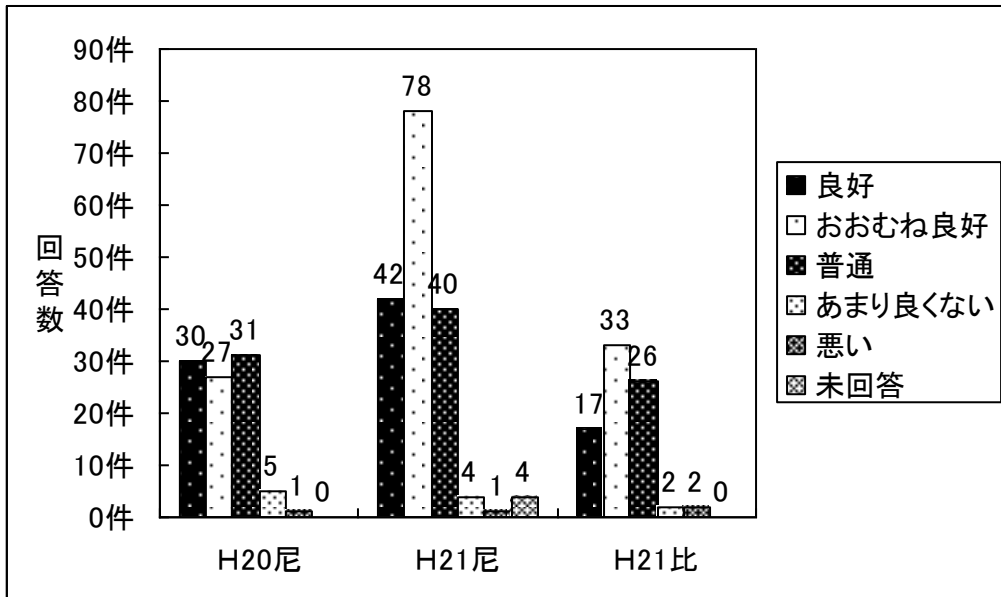
「患者の家族からの反応」について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「普通」という回答が多かった（34件）、平成21年度インドネシア人については、「おおむね良好」という回答が多かった（81件）、平成21年度フィリピン人候補者については、「おおむね良好」という回答が多かった（36件）（図2-17）。

「職員からの反応」について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「普通」という回答が多かった（31件）、平成21年度インドネシア人候補者については、「おおむね良好」という回答が多かった（78件）、平成21年度フィリピン人候補者については、「おおむね良好」という回答が多かった（33件）（図2-18）。

（図2-17）患者の家族からの反応について



(図2-18) 職員からの反応について



(2) 国家試験対策について

①候補者の週当たりの国家試験の学習回数、学習時間について

候補者の週当たりの国家試験の学習回数、学習時間について質問したところ、平均で、平成20年度インドネシア人候補者については、学習回数は3.9回、学習時間は12.7時間、平成21年度インドネシア人候補者については、学習回数は4.5回、学習時間は11.9時間、平成21年度フィリピン人候補者については、学習回数は4.2回、学習時間は13.3時間となっている(表2-1)。

(表2-1) 国家試験対策の学習回数、学習時間(平均)について

	H20 尼	H21 尼	H21 比	全体平均
学習回数	週 3.9 回	週 4.5 回	週 4.2 回	週 4.3 回
勤務時間内	週 9.4 時間	週 8.7 時間	週 9.1 時間	週 9.0 時間
勤務時間外	週 3.3 時間	週 3.2 時間	週 4.2 時間	週 3.5 時間
合計	週 12.7 時間	週 11.9 時間	週 13.3 時間	週 12.5 時間

<分布表>

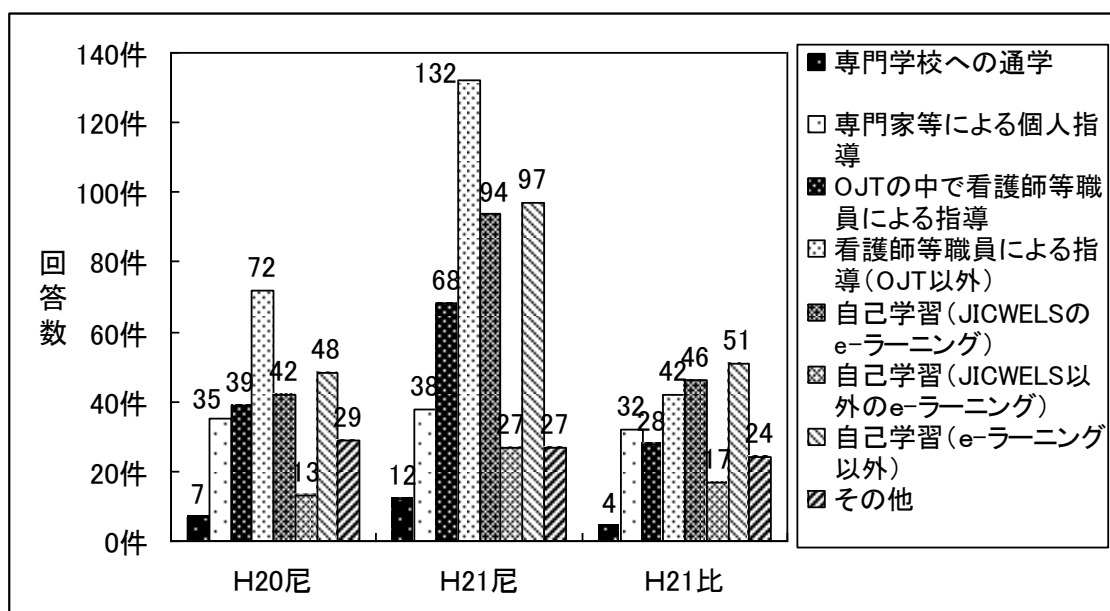
	回数	H20 尼	H21 尼	H21 比	合計
週 回	0	6 件	4 件	4 件	14 件
	1~5	83 件	144 件	68 件	295 件
	6 以上	5 件	21 件	8 件	34 件
1 週間当たり勤務時間内学習時間	0	10 件	19 件	8 件	37 件
	1~5	29 件	48 件	22 件	99 件
	6~10	19 件	43 件	24 件	86 件
	11 以上	36 件	59 件	26 件	121 件
1 週間当たり勤務時間外学習時間	0	43 件	75 件	38 件	156 件
	1~5	33 件	59 件	20 件	112 件
	6~10	13 件	26 件	13 件	52 件
	11 以上	5 件	9 件	9 件	23 件

(注) 学習回数が 0 については、国家試験の学習と日本語学習を分けられず、国家試験学習・日本語学習のどちらかにまとめて回答した施設があるため。

②国家試験対策の方法について

国家試験対策の方法について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者（計94人）については、「施設職員による指導（OJT以外）」（72件）、「自己学習（eラーニング以外）」（48件）という回答が多かった（図2-19）。また、平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については、「施設職員による指導（OJT以外）」（132件）、「自己学習（eラーニング以外）」（97件）という回答が多かった。平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については、「自己学習（eラーニング以外）」（51件）「自己学習（JICWELSのeラーニング）」（46件）という回答が多かった（図2-19）。

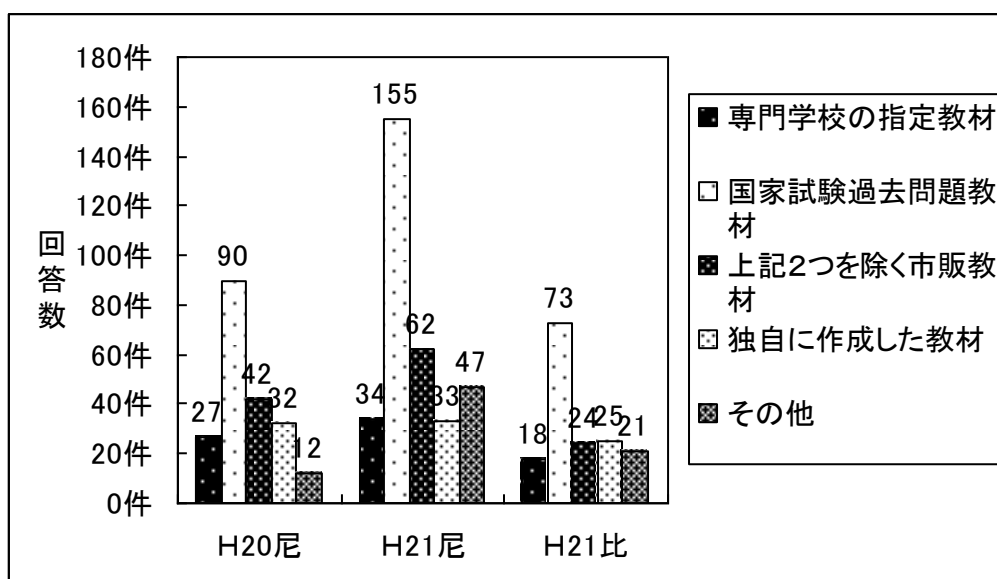
（図2-19）国家試験対策の方法について【複数回答】



③国家試験対策の教材について

国家試験対策の教材について質問したところ、「国家試験過去問題教材」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者（計94人）については、90件、平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については、155件、平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については、73件）（図2-20）。

（図2-20）国家試験対策の教材について【複数回答】



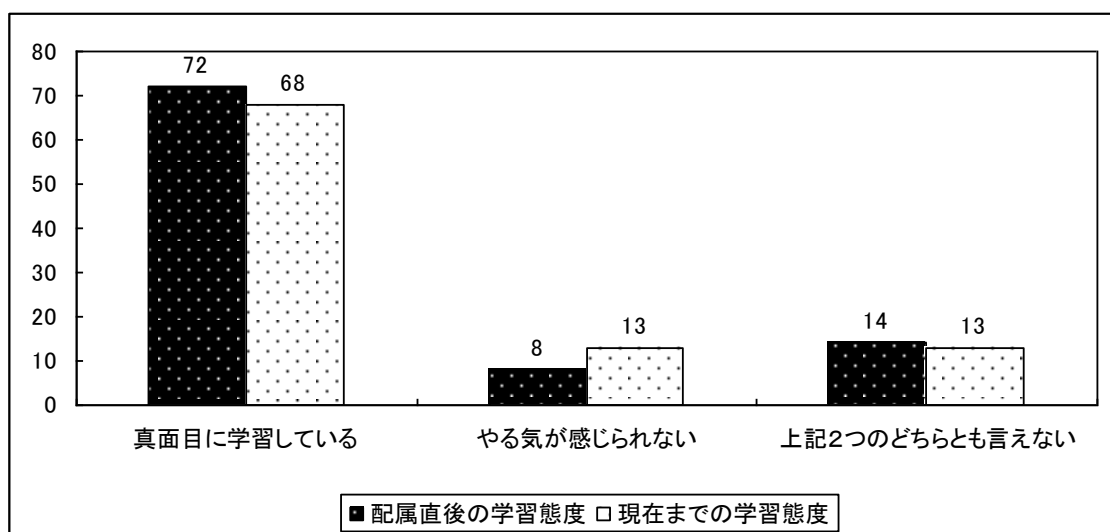
④研修開始後から現在までの候補者の学習態度について

研修開始後から現在までの候補者の学習態度について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者（計94人）については、「真面目に学習している」という回答は「72件」から「68件」へ減少している。また、「やる気が感じられない」という回答も「8件」から「13件」へ増加している（図2-21-a）。

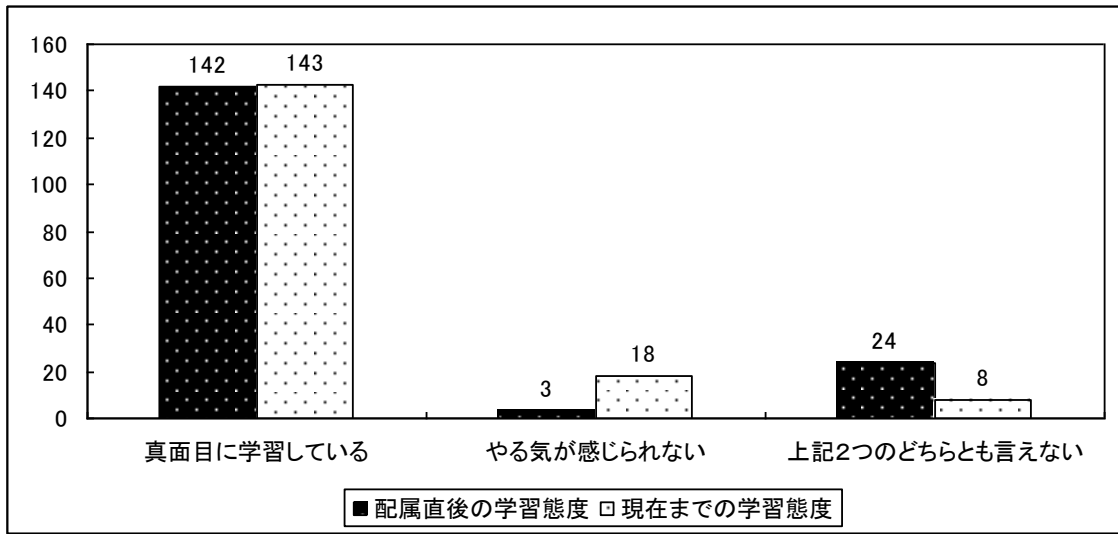
平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については、「真面目に学習している」という回答は「142件」から「143件」へ微増している。また、「やる気が感じられない」という回答も「3件」から「18件」へ増加している（図2-21-b）。

平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については、「真面目に学習している」という回答は「57件」から「58件」へ微増している。また、「やる気が感じられない」という回答も「6件」から「12件」へ増加している（図2-21-c）。

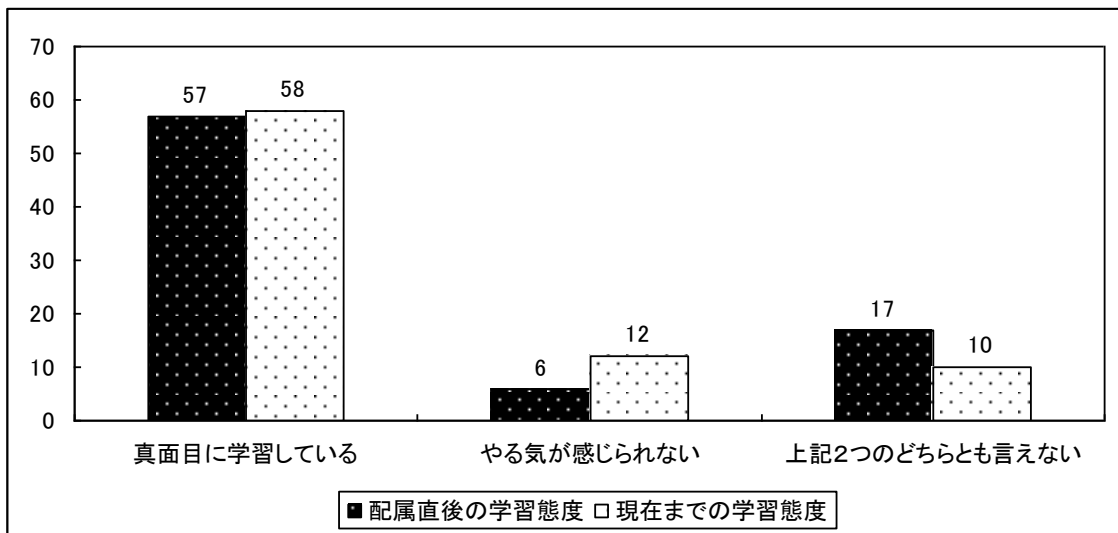
（図2-21-a）平成20年度インドネシア人候補者について



(図 2-21-b) 平成 21 年度インドネシア人候補者について



(図 2-21-c) 平成 21 年フィリピン人候補者について



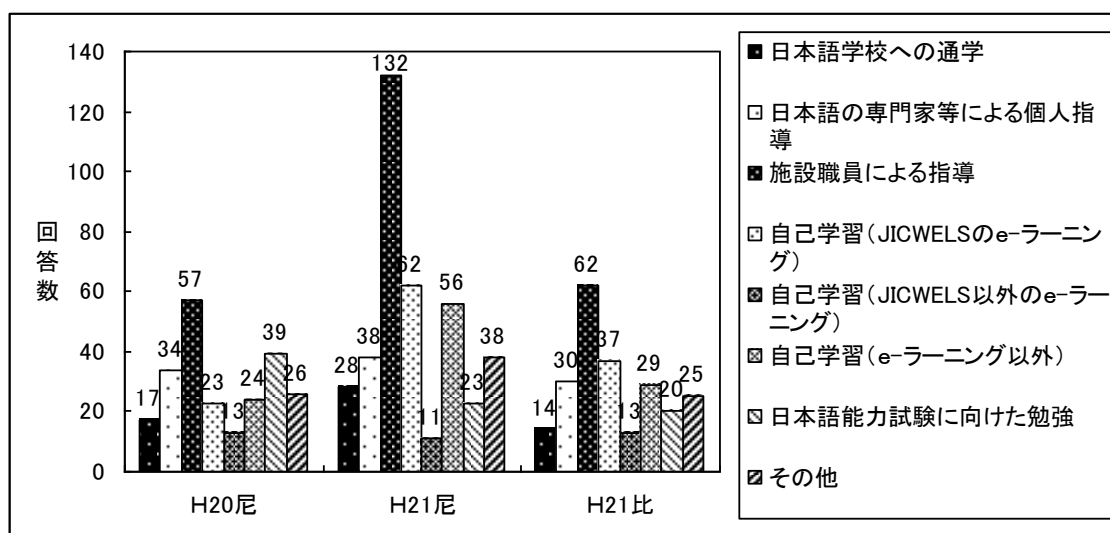
(3) 日本語について

①日本語指導方法について

日本語指導の方法について質問したところ、「施設内での指導」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者（計94人）については57件、平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については132件、平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については62件）（図2-22）。

また、「日本語能力試験に向けての勉強」という回答をした82件については、何級に向けた勉強をしているか質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者についてはN3級（13件）、平成21年度インドネシア人候補者についてはN3級（13件）、平成21年度フィリピン人候補者については旧2級（7件）という回答が多かった（表2-2）。

（図2-22）日本語指導方法について【複数回答】



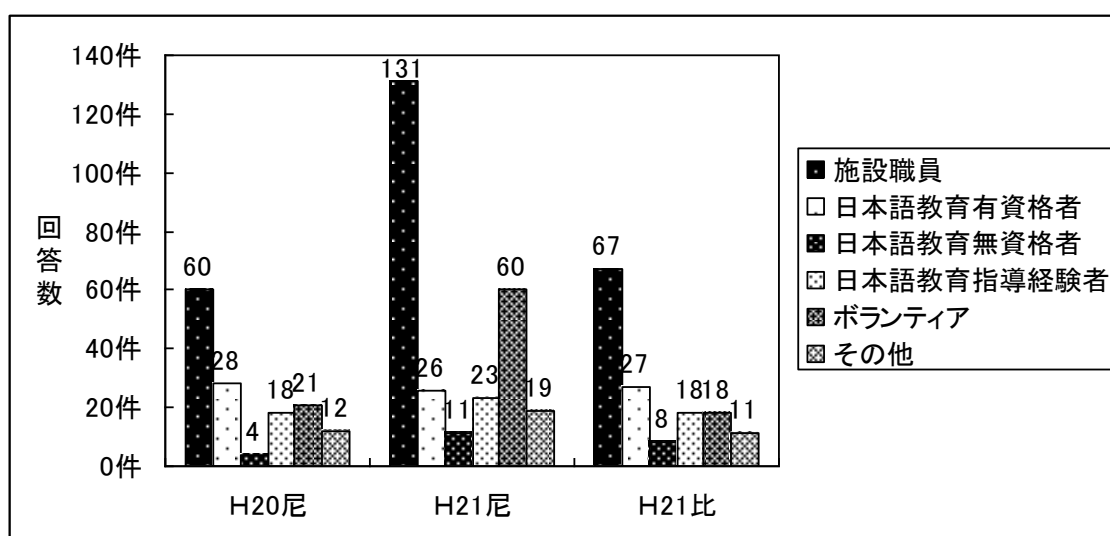
（表2-2）日本語能力試験に向けた勉強について

	H20 尼	H21 尼	H21 比	合計
旧2級	12件	3件	7件	22件
旧3級	7件	5件	5件	16件
旧4級	1件	0件	0件	1件
N1級	0件	0件	0件	0件
N2級	4件	0件	0件	4件
N3級	13件	13件	2件	28件
N4級	0件	0件	0件	0件
未回答	2件	2件	6件	10件
合計	39件	23件	20件	82件

②日本語の指導者について

日本語指導者について質問したところ、「施設職員」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者（計94人）については60件、平成21年度インドネシア人候補者（計169人）については131件、平成21年度フィリピン人候補者（計80人）については67件）また、平成21年度インドネシア人候補者については、「ボランティア」（60件）という回答も多かった（図2-23）。

（図2-23）日本語の指導者について【複数回答】



③候補者の週当たりの日本語の平均学習回数、平均学習時間について

候補者の週当たりの日本語の学習回数、学習時間について質問したところ、平均で、平成20年度インドネシア人候補者については、学習回数は2.2回、学習時間は5.0時間、平成21年度インドネシア人候補者については、学習回数は2.8回、学習時間は6.2時間、平成21年度フィリピン人候補者については、学習回数は2.5回、学習時間は6.2時間となっている（表2-3）。

（表2-3）日本語学習の学習回数、学習時間（平均）について

	H20 尼	H21 尼	H21 比	全体平均
回数	週 2.2 回	週 2.8 回	週 2.5 回	週 2.6 回
勤務時間内	週 3.5 時間	週 4.2 時間	週 4.4 時間	週 4.1 時間
勤務時間外	週 1.5 時間	週 2.0 時間	週 1.8 時間	週 1.8 時間
合計	週 5.0 時間	週 6.2 時間	週 6.2 時間	週 5.9 時間

<分布表>

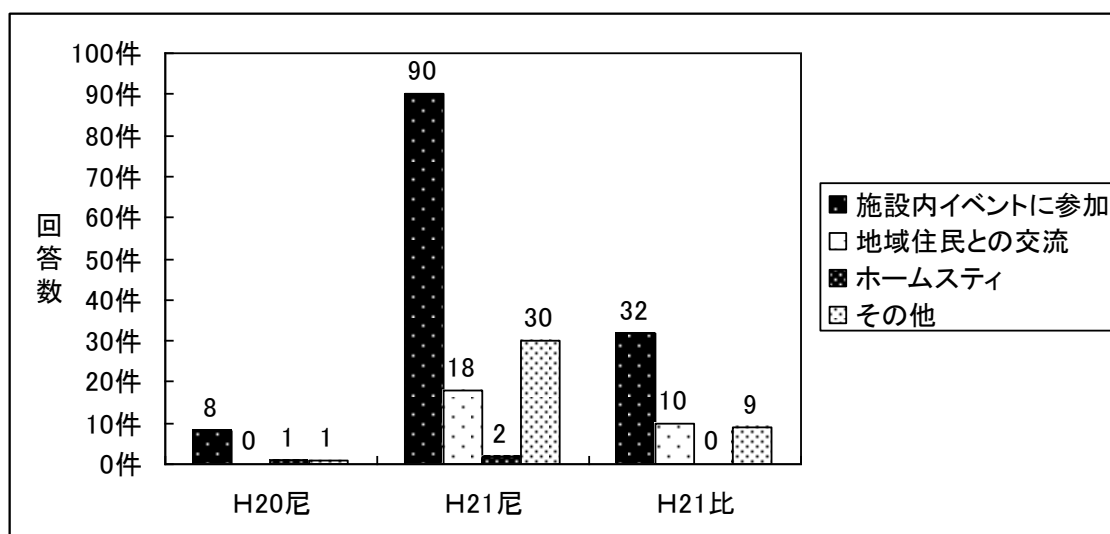
	回数	H20 尼	H21 尼	H21 比	合計
週 回	0	25 件	37 件	12 件	74 件
	1～5	67 件	119 件	65 件	251 件
	6 以上	2 件	13 件	3 件	18 件
1 週間当たり勤務時間内学習時間	0	42 件	62 件	22 件	126 件
	1～5	38 件	56 件	36 件	130 件
	6～10	6 件	36 件	17 件	59 件
	11 以上	8 件	15 件	5 件	28 件
1 週間当たり勤務時間外学習時間	0	55 件	97 件	43 件	195 件
	1～5	34 件	52 件	27 件	113 件
	6～10	4 件	20 件	10 件	34 件
	11 以上	1 件	0 件	0 件	1 件

（注）学習回数が 0 については、国家試験の学習と日本語学習を分けられず、国家試験学習・日本語学習のどちらかにまとめて回答した施設があるため。

④授業以外で日本語に触れる機会について

授業以外で日本語に触れる機会について質問したところ、「施設内イベントに参加」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者については8件、平成21年度インドネシア人候補者については90件、平成21年度フィリピン人候補者については32件）（図2-24）。

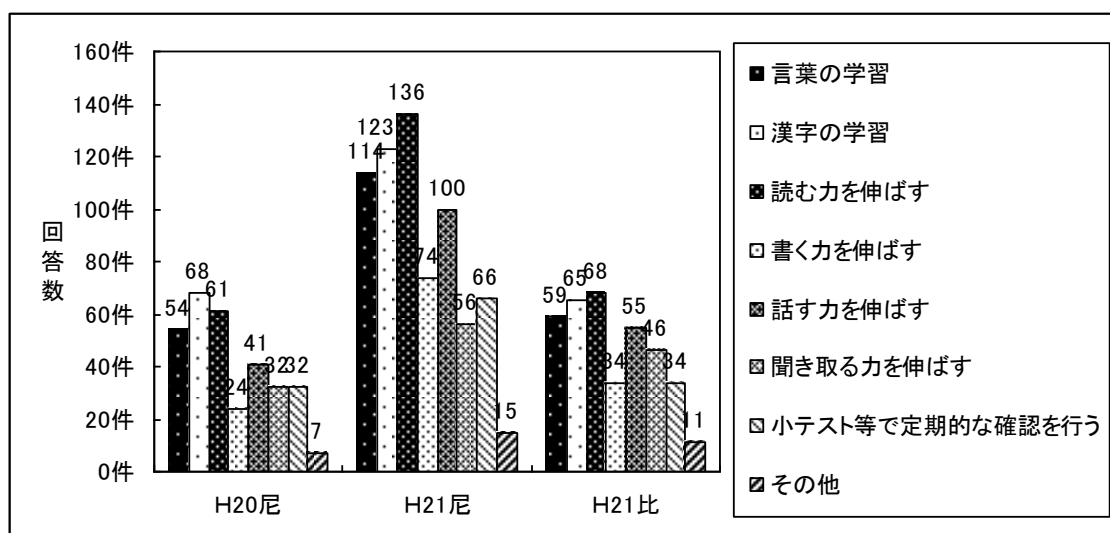
（図2-24）授業以外で日本語に触れる機会について【複数回答】



⑤日本語の指導で工夫している点について

日本語指導で工夫している点について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「漢字の学習」(68件)「読む力を伸ばす」(61件)、「言葉の学習」(54件)、平成21年度インドネシア人候補者については、「読む力を伸ばす」(136件)、「漢字の学習」(123件)、「言葉の学習」(114件)、「話す力を伸ばす」(100件)、平成21年度フィリピン人候補者については、「読む力を伸ばす」(68件)、「漢字の学習」(65件)、「言葉の学習」(59件)という回答が多かった(図2-25)。

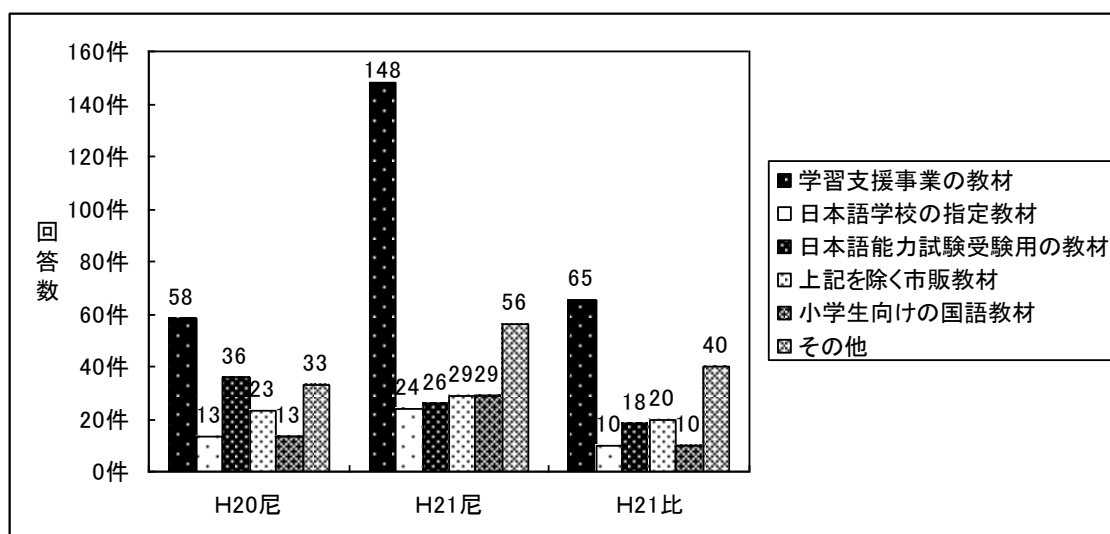
(図2-25) 日本語の指導で工夫している点について



⑥日本語指導における教材について

日本語指導の教材について質問したところ、「学習支援事業の教材」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者については58件、平成21年度インドネシア人候補者については148件、平成21年度フィリピン人候補者については65件）（図2-26）。

（図2-26）日本語指導における教材について



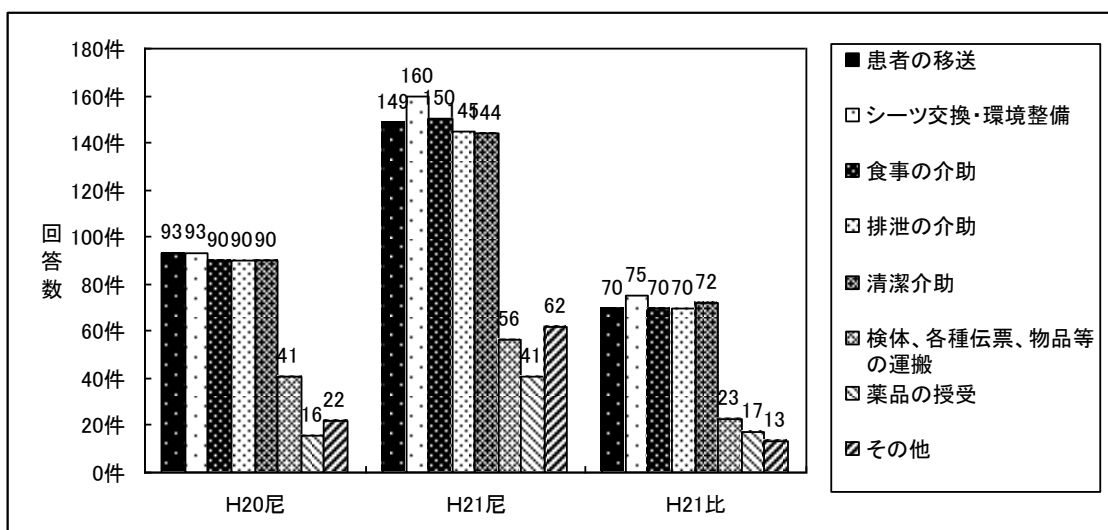
3. 候補者への質問

(1) 就労について

① 現在取り組んでいる業務について

現在取り組んでいる業務について質問したところ、「患者の移送」、「シーツ交換・環境整備」、「食事の介助」、「排泄の介助」、「清潔介助」については、殆どの候補者が取り組んでいる（平成20年度インドネシア人については、それぞれ93件、93件、90件、90件、90件、平成21年度インドネシア人候補者については、それぞれ149件、160件、150件、145件、144件、平成21年度フィリピン人候補者については、それぞれ70件、75件、70件、70件、72件の回答があった（図3-1））。

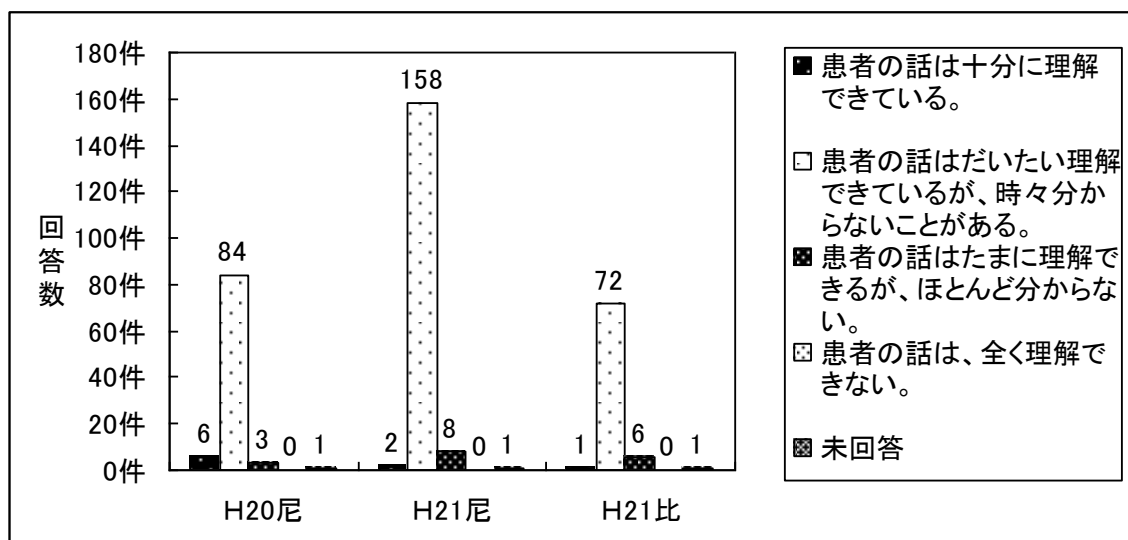
(図3-1) 現在、取り組んでいる業務について【複数回答】



②患者とのコミュニケーションについて

患者とのコミュニケーションについて質問したところ、「だいたい理解できているが、時々分からないことがある」という回答が、平成20年度インドネシア人候補者については84件、平成21年度インドネシア人候補者については158件、平成21年度フィリピン人候補者については72件あった（図3-2）。

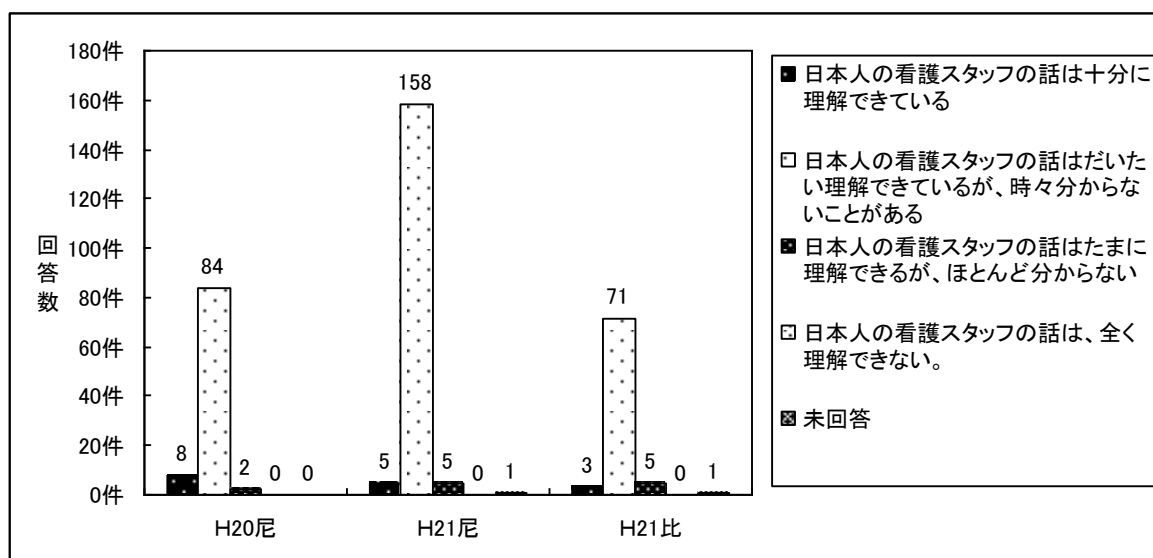
（図3-2）患者とのコミュニケーションについて



③看護スタッフとのコミュニケーションについて

看護スタッフとのコミュニケーションについて質問したところ、「だいたい理解できているが、時々分からないことがある」という回答が、平成20年度インドネシア人候補者については84件、平成21年度インドネシア人候補者については158件、平成21年度フィリピン人候補者については71件あった(図3-3)。

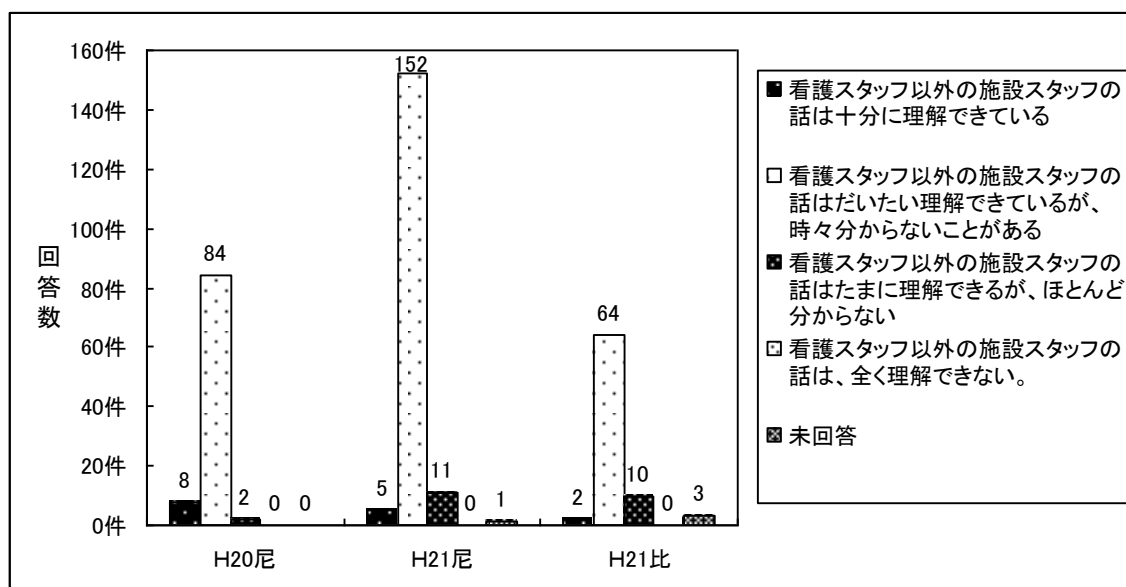
(図3-3) 看護スタッフとのコミュニケーションについて



④他のスタッフとのコミュニケーションについて

他のスタッフとのコミュニケーションについて質問したところ、「だいたい理解できているが、時々分からないことがある」という回答が、平成20年度インドネシア人候補者については84件、平成21年度インドネシア人候補者については152件、平成21年度フィリピン人候補者については64件あった(図3-4)。

(図3-4) 他のスタッフとのコミュニケーションについて



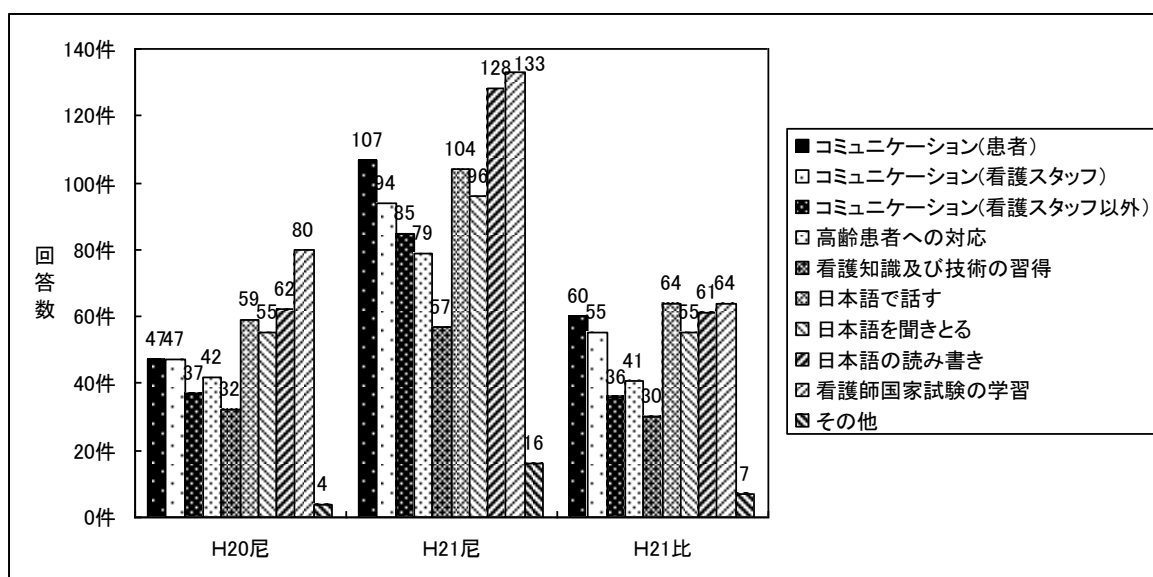
⑤候補者自身の課題について

自分自身の課題について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「国家試験の学習」(80件)、「日本語の読み書き」(62件)、「日本語で話す」(59件)、「日本語で聞きとる」(55件)という回答が多かった(図3-5)。

また、平成21年度インドネシア人候補者については、「国家試験の学習」(133件)、「日本語の読み書き」(128件)、「コミュニケーション(看護スタッフ以外)」(107件)、「日本語で話す」(104件)という回答が多かった(図3-5)。

さらに、平成21年度フィリピン人候補者については、「国家試験の学習」(64件)、「日本語で話す」(64件)、「日本語の読み書き」(61件)、「コミュニケーション(看護スタッフ以外)」(60件)という回答が多かった(図3-5)。

(図3-5) 候補者自身の課題について【複数回答】



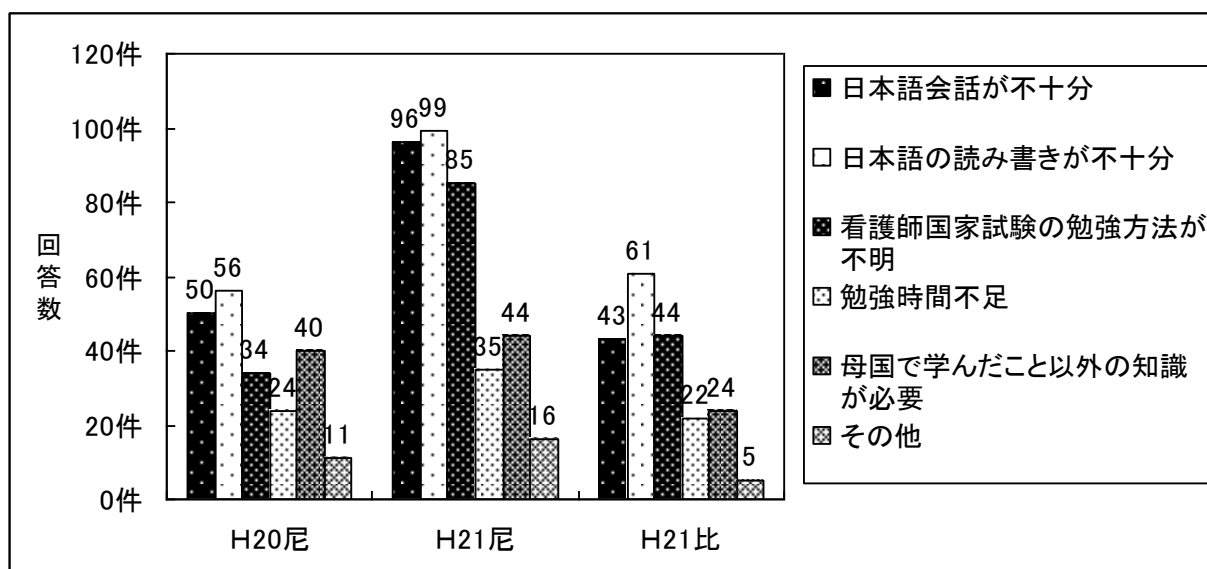
⑥候補者自身の課題の原因について

自分自身の課題に対する原因について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「日本語の読み書きが不十分」(56件)、「日本語会話が不十分」(50件)、「母国で学んだこと以外の知識が必要」(40件)という回答が多かった(図3-6)。

また、平成21年度インドネシア人候補者については、「日本語の読み書きが不十分」(99件)、「日本語会話が不十分」(96件)、「看護師国家試験の勉強方法がわからない」(85件)という回答が多かった(図3-6)。

さらに、平成21年度フィリピン人候補者については、「日本語の読み書きが不十分」(61件)、「看護師国家試験の勉強方法がわからない」(44件)、「日本語会話が不十分」(43件)という回答が多かった(図3-6)。

(図3-6) 課題に対する原因と思われる項目について

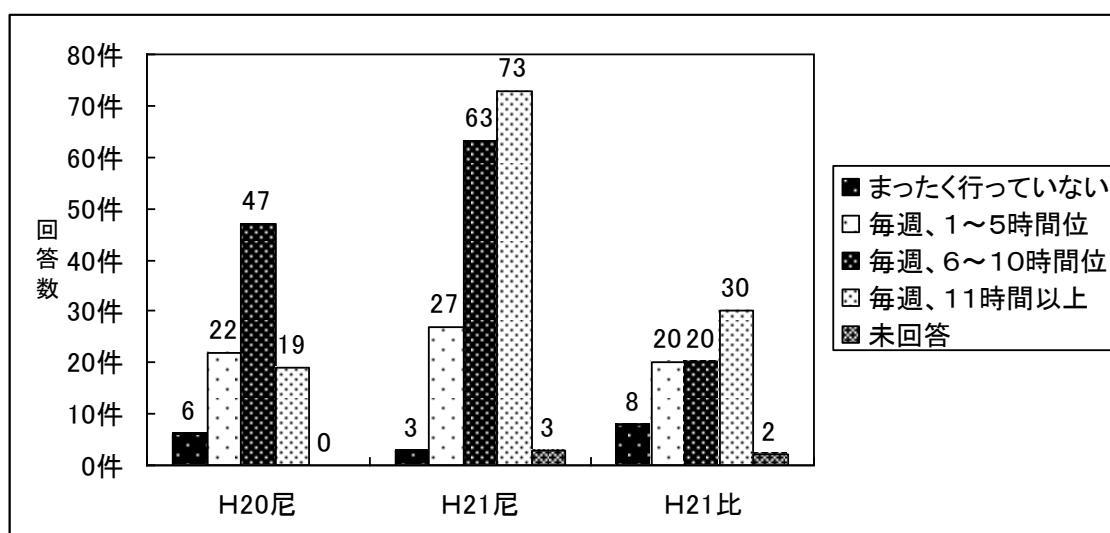


⑦学習時間について

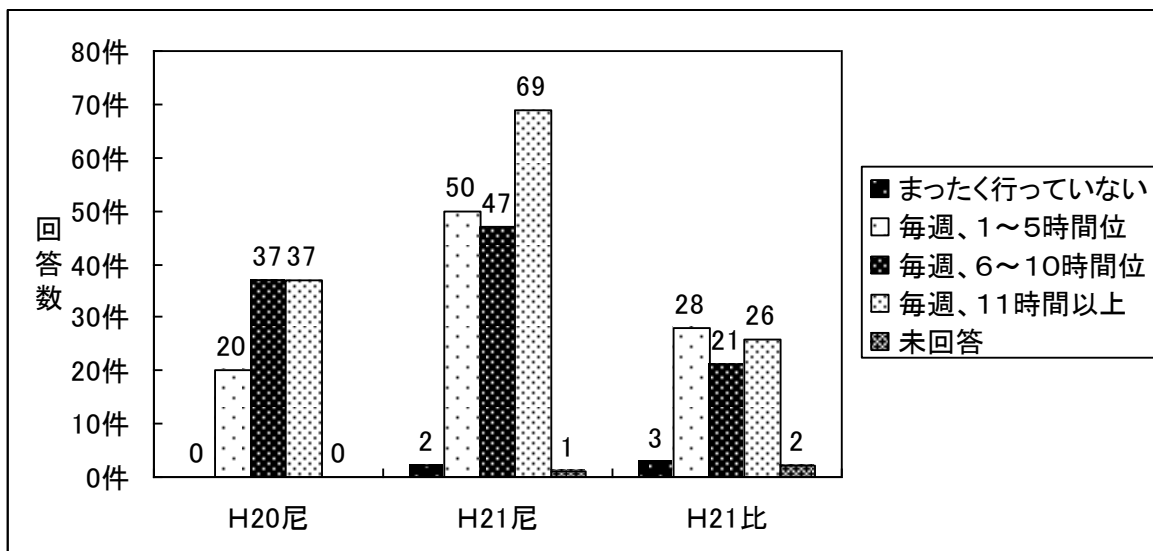
勤務時間内の学習時間について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「毎週6～10時間位」という回答が多かった（47件）。他方、平成21年度インドネシア人候補者、平成21年度フィリピン人候補者については、ともに「毎週11時間以上」という回答が多かった（順に73件、30件）（図3-7）。

また、勤務時間外の学習時間について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「毎週6～10時間位」、「毎週11時間以上」という回答が多かった（ともに37件）。平成21年度インドネシア人候補者については、「毎週11時間以上」という回答が多かった（69件）。平成21年度フィリピン人候補者については、「毎週1～5時間位」という回答が多かった（28件）（図3-8）。

（図3-7）勤務時間内の学習時間について



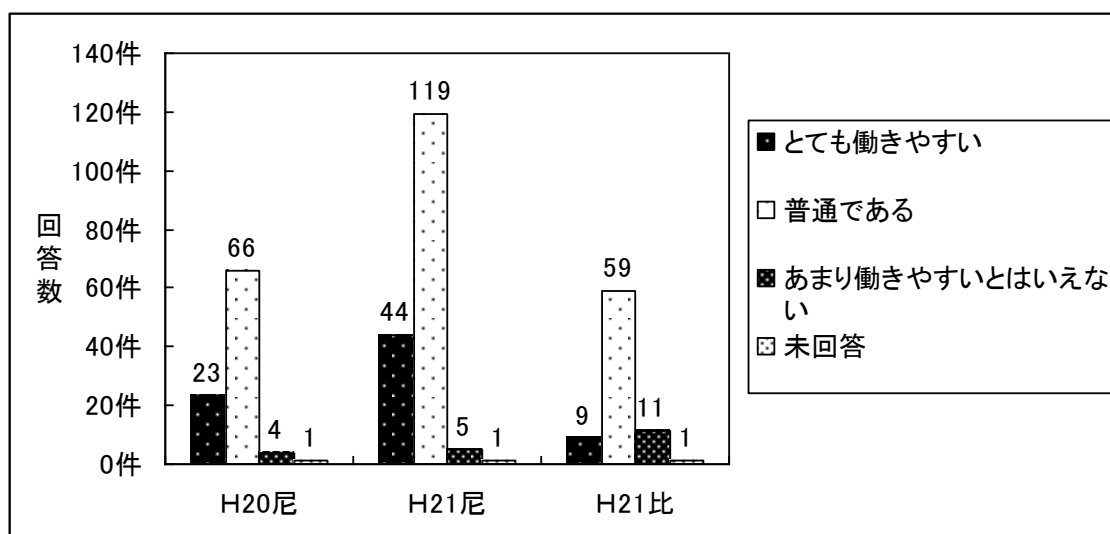
(図3-8) 勤務時間外の学習時間について



⑧仕事の環境について

仕事の環境について質問したところ、「とても働きやすい」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者については66件、平成21年度インドネシア人候補者については119件、平成21年度フィリピン人候補者については59件）（図3-9）。

（図3-9）仕事の環境について

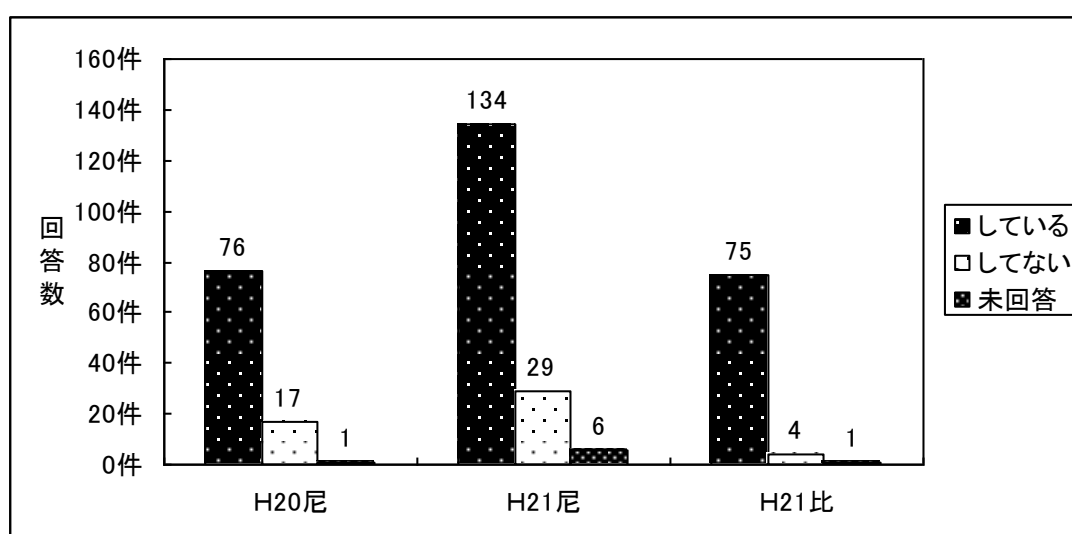


(2) 候補者の生活について

①仕送りについて

仕送りについて質問したところ、「している」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人候補者については76件、平成21年度インドネシア人候補者については134件、平成21年度フィリピン人候補者については75件）（図3-10）。また、仕送り金額の平均については、5.6万円となった（表3-1）。

(図3-10) 仕送りについて



(表3-1) 仕送り金額の平均について

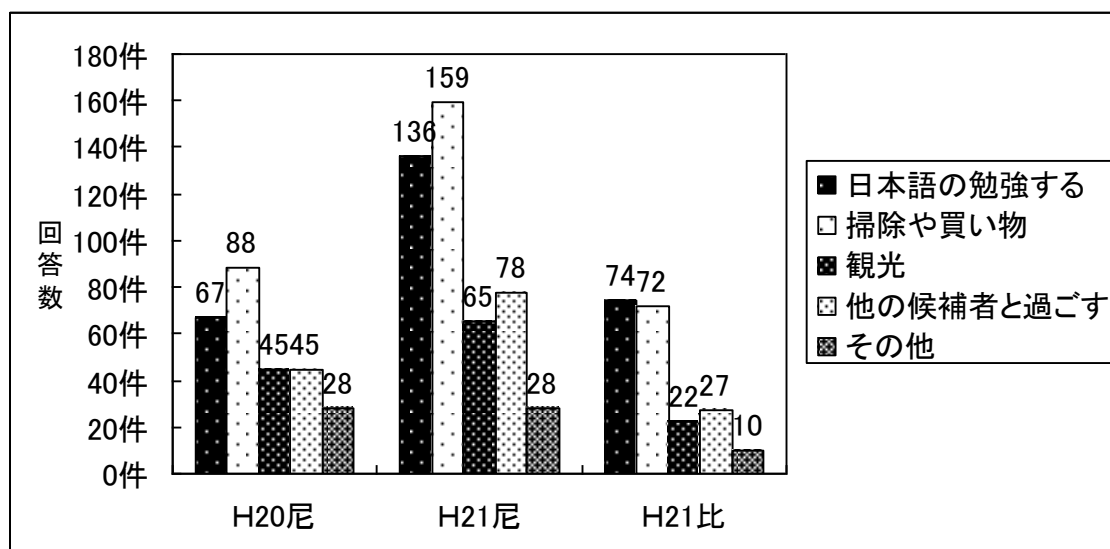
H20尼	H21尼	H21比	全体平均額
4.6万円	5.3万円	6.9万円	5.6万円

※自由書式による回答の数値の平均（仕送りしない者も含めた）。万円単位での回答が多かった。

②休日の過ごし方について

休日の過ごし方について質問したところ、「掃除や買い物」、「日本語や国家試験を勉強する」という回答が多かった（図3-11）。

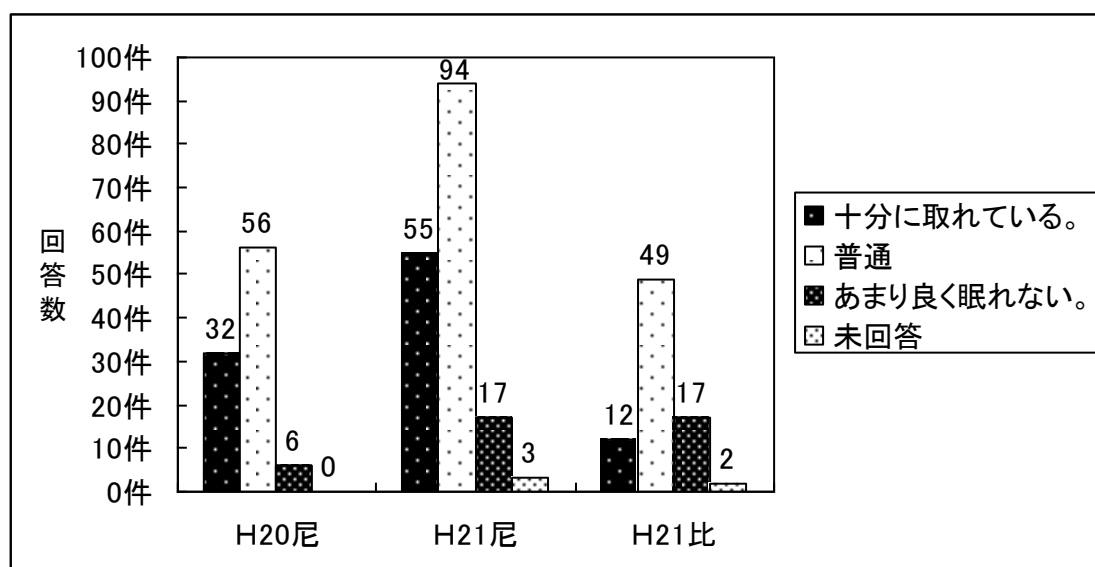
（図3-11）休日の過ごし方について【複数回答】



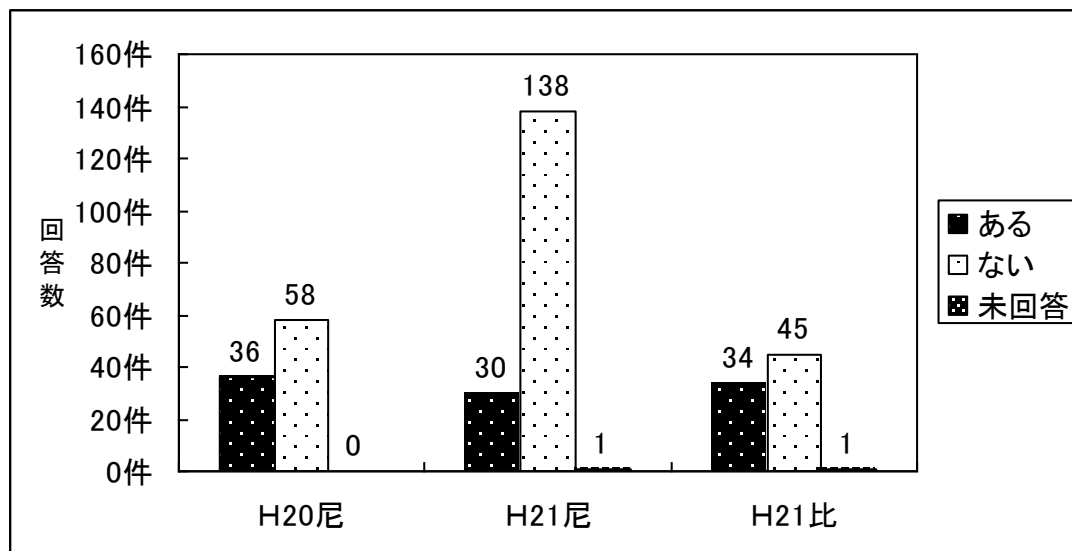
③睡眠と健康状態について

睡眠について質問したところ、「普通」という回答が多かった（図3-12）。また、体の具合について質問したところ、「悪いところはない」という回答が多かった（図3-13）。

（図3-12）睡眠について



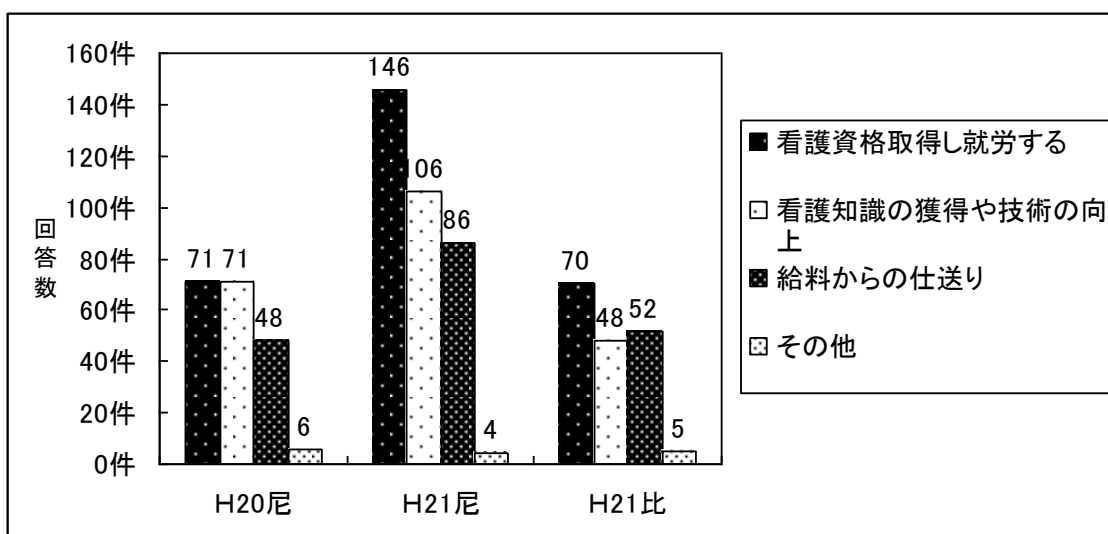
(図3-13) 体の具合について (悪いところの有無)



④来日の目的について

来日の目的について質問したところ、「看護資格取得し就労する」という回答が多かった（平成20年度インドネシア人については71件、平成21年度インドネシア人については146件、平成21年度フィリピン人については70件）（図3-14）。

（図3-14）来日の目的について



4. 看護師候補者 日本語テストの結果

候補者の看護師国家試験に向けた学習の進捗状況を測るために、以下のテスト（日本語教育専門家が問題を作成）を実施し、その場で採点した上で、採点結果及び講評、今後の学習方法の助言を候補者及び受入れ施設（受入れ責任者、研修責任者等）に対して行った。なお、本テストは、点数評価を目的とするものではなく、漢字の認識、語彙の意味の認識、長文の読解、看護知識の不足等、候補者の学習における弱点を具体的に把握し、適切な助言を行うために実施するものである。

(1) 実施概要について

受験人数 338名（全343名）について実施

実施方法 問題1～3と問題4～6は分けて行う

所要時間 問題1～3 25分間 問題4～6 35分間

(2) 問題作成について

日本語教育専門家 グループ四次元ポケット 日本語教師 作成

(3) 日本語テスト内容について

1. 漢字の基本語彙
2. 国家試験頻出漢字
3. 問題文表現
4. 必修問題
5. 状況設定問題1
6. 状況設定問題2

(4) 出典について

問題1. 漢字の基本語彙について <日本語専門家オリジナル問題>

問題2. 国家試験頻出漢字について<日本語専門家オリジナル問題>

問題3. 問題文表現について<第97・98回 国家試験問題より抜粋>

問題4. 必修問題について<第94～98回 国家試験必修問題より抜粋>

問題5. 状況設定問題①<第98回国家試験問題午後問題103～105より>

問題6. 状況設定問題②<第97回国家試験問題午後問題73～75より>

(5) 問題例について

問題1. 漢字の基本語彙について

ひらがなと漢字を結んでください。(3×5)

例) 看護師 ・————→ ・かんごし

- 1) 男性 ・ ・じょうたい
- 2) 患者 ・ ・へんか
- 3) 状態 ・ ・だんせい
- 4) 方法 ・ ・かんじゃ
- 5) 変化 ・ ・ほうほう

問題2. 国家試験頻出漢字について

から漢字を一つ選んで()に入れて、ことばを作ってください。(3×5)

例) (筋)肉注射

- 1) ()癌剤
- 2) 血()
- 3) 気()
- 4) 心筋()
- 5) 経口栄養()

問題3. 問題文表現について

正しい訳を選んで線で結んでください。(3×5)

- 例) 特徴はどれか ・ → ・Yang mana ciri?
- 1) 疾患はどれか ・ ・Yang mana ketepatan ?
 - 2) 適切なのはどれか ・ ・Yang mana gejala ?
 - 3) 誤っているのはどれか ・ ・Yang mana mudah terjadi ?
 - 4) 症状はどれか ・ ・Yang mana salah ?
 - 5) 起こりやすいのはどれか ・ ・Yang mana penyakit?

問題4. 必修問題について

正しい答えに○をつけてください。(5×5=25)

1) 国民健康保険一般被保険者本人の自己負担割合はどれか。

- (1) 1割 (2) 2割
(3) 3割 (4) 4割

2) 保健師助産師看護師法に定められている看護師の義務はどれか。

- (1) 関係機関との連携 (2) 記録の保存
(3) 結果発生の予見 (4) 秘密の保持

3) 全身性浮腫で起こる変化はどれか。

- (1) 食欲亢進 (2) 体重増加
(3) 色素沈着 (4) 眼球突出

4) AEDの機能はどれか。

- (1) 止血 (2) 除細動
(3) 気道確保 (4) 静脈確保

5) 成人の経鼻経管栄養法の体位で適切なものはどれか。

- (1) 膝胸位 (2) 腹臥位
(3) 半坐位 (4) シムス位

問題 5. 状況設定問題①について

次の文を読み、1)～3)の問いに答えてください。(5×3=15)

90歳の男性。1人暮らし。肺癌末期で病状の説明はされている。食欲不振と呼吸困難とで1週前に入院し、酸素2l/分と塩酸モルヒネを投与したが、食事がとれなくなり傾眠状態が続いていた。本日朝、脈拍100/分、血圧80/46 mmHg、動脈血酸素飽和度(SpO₂)85%となった。

1) 患者は今回の入院直後に「終末期には何も処置しないでほしい」とリビングウィルを医師に提出している。遠方から駆けつけた弟が「1秒でも長く生かしてもらいたい」と言った。今後のケア方法の決定で最も優先されるのはどれか。

- (1) 弟の意見 (2) 病院の方針
- (3) 医師の判断 (4) 本人のリビングウィル
- (5) 公正な立場の第三者の判断

2) 弟への対応で適切でないのはどれか。

- (1) 今後の見込みを説明する。 (2) ケアに参加できるように支援する。
- (3) 誰か会わせたい人がいるか尋ねる。
- (4) 安静のために静かに見守るよう指導する。

3) 患者の意識が戻り「水が飲みたい」と言った。対応で適切なのはどれか。

- (1) 点滴静脈内注射を開始する。 (2) 弟とともに水を口に含ませる。
- (3) 看護師が吸引しながら水を飲ませる。
- (4) 誤嚥のリスクがあるので水は控えるように説明する。

問題6 状況設定問題②について

次の文を読み、1)～3)の問いに答えてください。(5×3=15)

36歳の初産婦。専業主婦。妊娠30週2日。身長160cm、非妊時体重55kg。健康診査時、体重60kg。子宮底長26cm、腹囲80cm。血圧120/76mmHg。尿蛋白(－)、尿糖(－)。浮腫(－)。Hb10.5g/dl、Ht30.0%。胎児心拍数150bpmであった。

1) 健康状態のアセスメントで適切なのはどれか。

- (1) 貧血がみられる。
- (2) 胎児心拍が頻脈である。
- (3) 体重増加が過剰である。
- (4) 子宮底長が週数に比べて小さい。

2) 健康診査後「週末にひとりで友人の家に遊びに行き、一泊する予定です。新幹線で2時間位かかるので指定席を取るつもりです」と言う。保健指導で適切なのはどれか。

- (1) 「取りやめた方がいいでしょう」
- (2) 「重い荷物は背負って移動すると楽でしょう」
- (3) 「ゆとりのあるスケジュールを計画しましょう」
- (4) 「新幹線より高速バスを利用した方がいいでしょう」

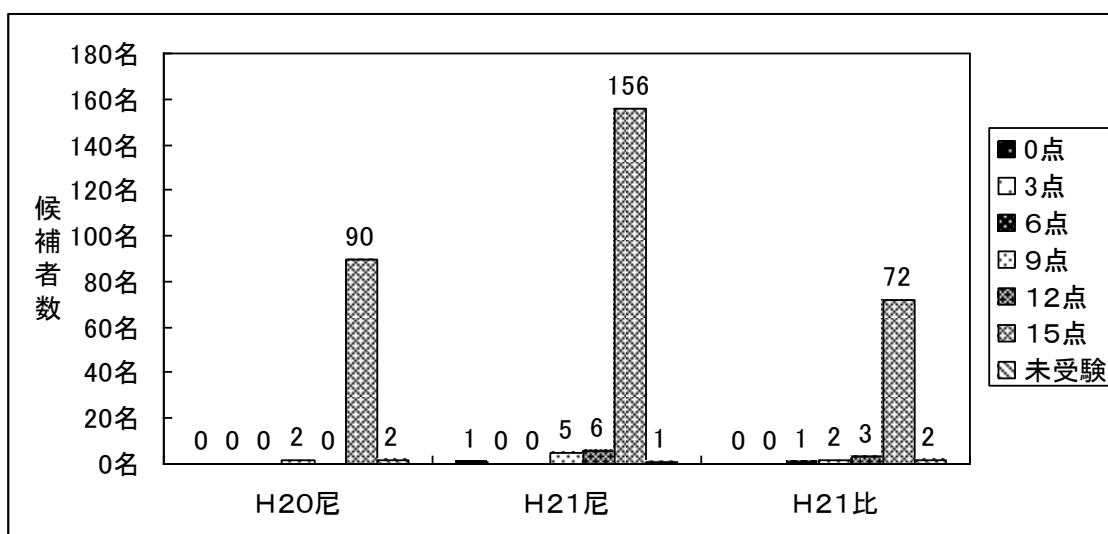
3) 妊娠34週2日。健康診査の結果は体重62kg。子宮底長30cm、腹囲84cm。血圧114/82mmHg。尿蛋白(－)、尿糖(－)。浮腫(－)。「食後、胸がムカムカすることがあります。以前より食欲が落ちた気がします」と言う。保健指導で適切なのはどれか。

- (1) 食後は左側臥位で休息する。
- (2) 香辛料をきかせた料理を摂取する。
- (3) 食べたい物を食べたい時に摂取する。
- (4) 一回の食事量を減らし食事回数を増やす。

(6) 各年度別得点の比較について

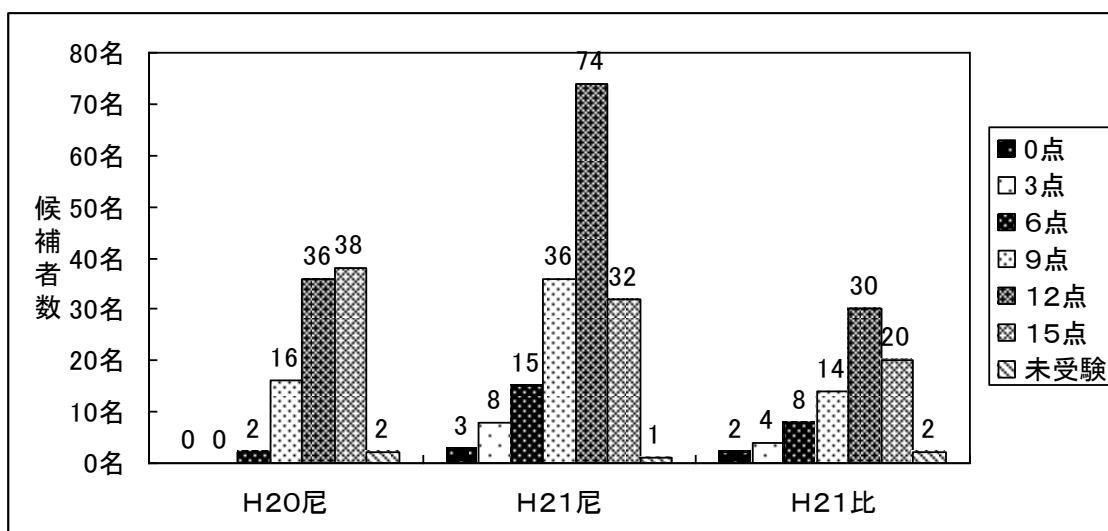
以下では、平成20年度受入れインドネシア人（92名、就労研修開始日：平成21年2月13日）、平成21年度受入れインドネシア人（168名、就労研修開始日：平成22年1月16日）、平成21年度フィリピン人（80名、就労研修開始日：平成21年10月29日）の得点状況を比較した。

問題1. 漢字の基本語彙について



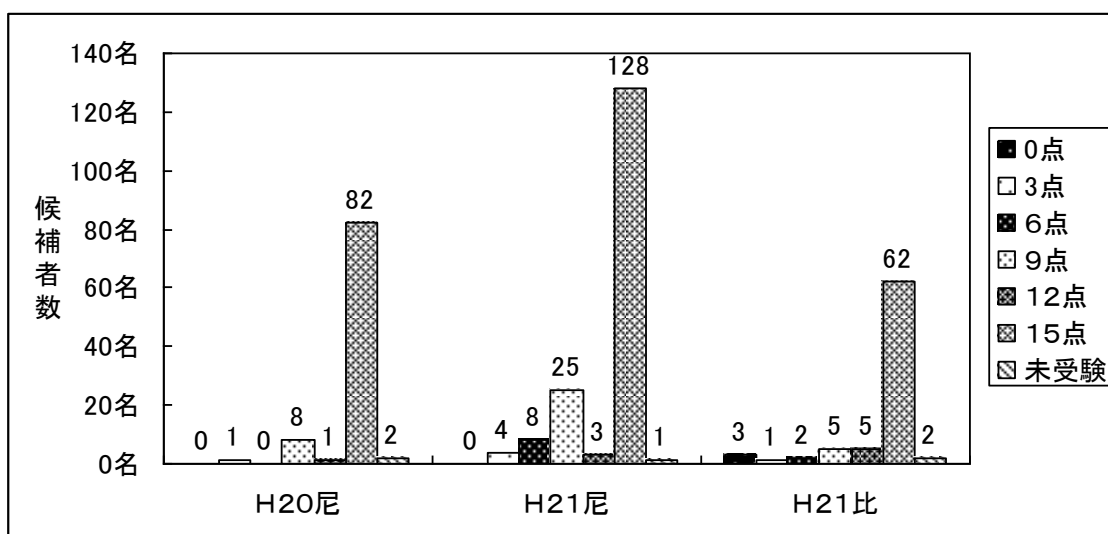
※1問3点。全5問。

問題2. 国家試験頻出漢字について



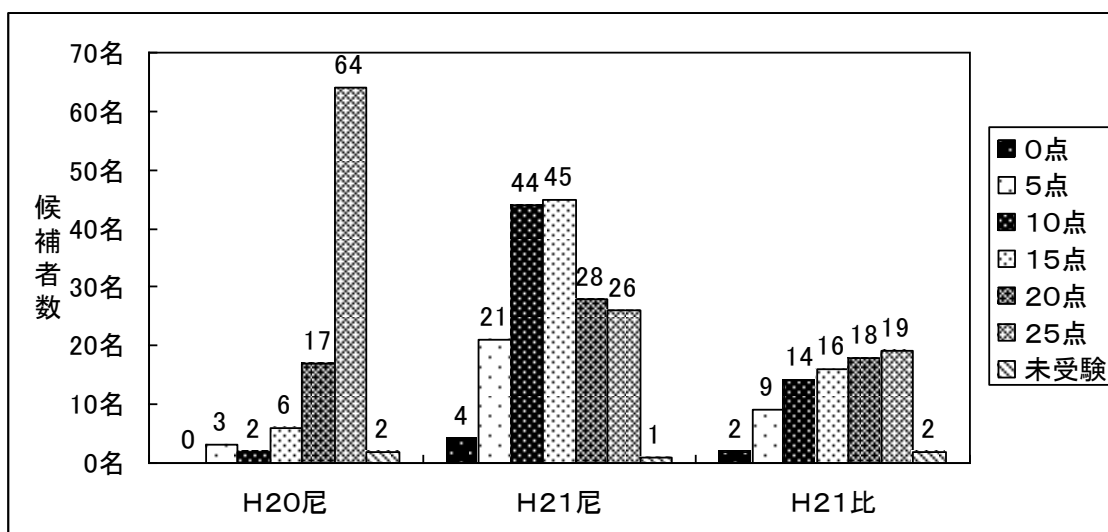
※1問3点。全5問。

問題3. 問題文表現について



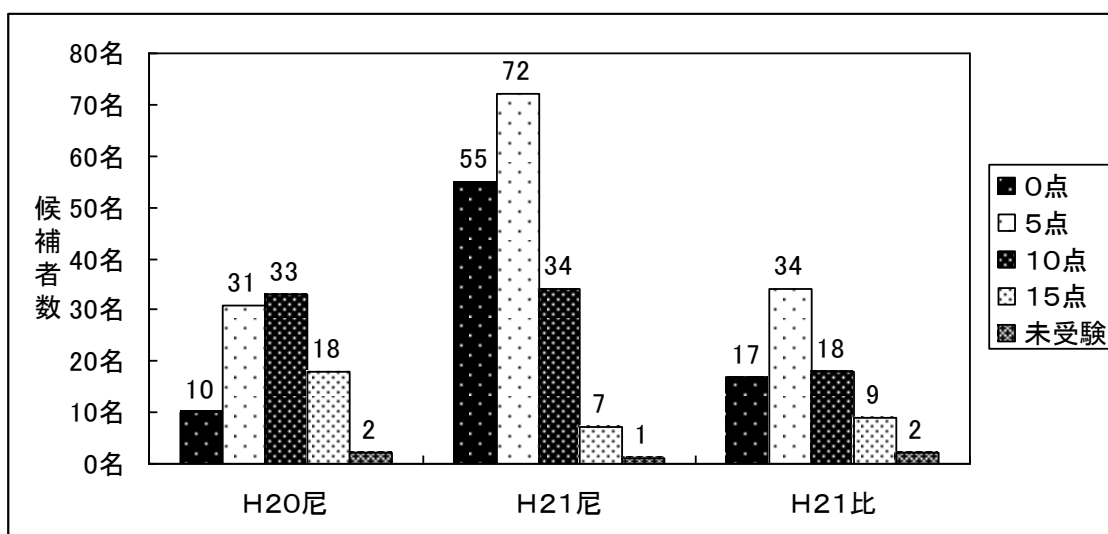
※1問3点。全5問。

問題4. 必修問題について



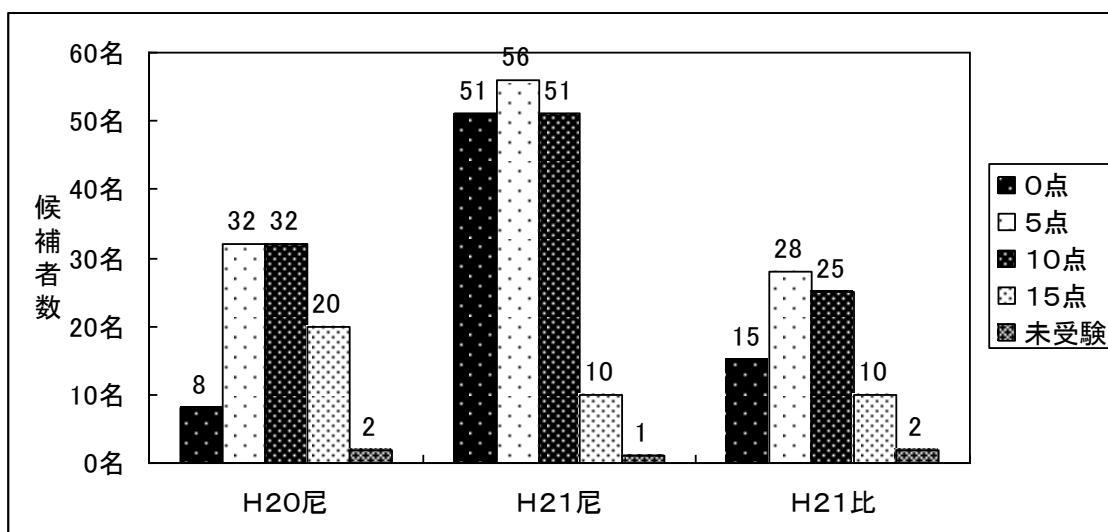
※1問5点。全5問。

問題 5. 状況設定問題①について



※ 1問5点。全3問。

問題 6. 状況設定問題②について



※ 1問5点。全3問。

合計点の得点率の分布について

